R50

RICOH

取扱説明書

本製品のシリアル番号は、
本体底面に記載されています。

お客様登録のお願い

この度は、リコー製品をお買い求めいただきありがとうございます。リコーは、ご購入商品に関する適切なサポートやサービスを提供するために、お客様登録をお願いしております。

お客様登録は、下記の弊社 Web サイトからお願い致します。

http://www.ricoh.co.jp/dc/regist/

なお、ご登録いただいた方には、E メール（リコーデジタルカメラの情報掲載）の配信を行っております。

はじめに

この取扱説明書には、本製品を使って撮影や再生機能を利用する方法や使用上の注意について記載してあります。
本製品の機能を十分にご活用いただくため、ご使用の前に、本書を最後までお読みください。本書が必要になったとき、すぐに利用できるよう、お読みになった後は、必ず保管してください。

株式会社リコー

安全上のご注意について	安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。
テスト撮影について	必ず事前にテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してください。
著作権について	著作権の目的になっている書籍、雑誌、音楽等の著作物は、個人的または家庭内およびこれに準ずる限られた範囲内で使用する以外、著作者に無断で複写、改変等することは禁じられています。
ご使用に際して	万一、本製品などの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。
保証書について	本製品は国内仕様です。保証書は日本国内において有効です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。
電波障害について	他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。 ・テレビやラジオなどからできるだけ離す ・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える ・コンセントを別にする ＜電波障害自主規制について＞ この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

もくじ

■準備

■基本操作

■撮影

もくじ(つづき)

■再生

■オプション

■他の機器との接続

■CD-ROMを使う

もくじ(つづき)

■付録

使いかた早見もくじ

このカメラには、便利な機能があります。「思いどおりの写真を撮りたい」「いろいろな方法で画像を見たい」という時には、このもくじを参考にして目的の操作を探してください。

撮影

使いかた早見もくじ(つづき)

基本的な使いかた	便利な機能	さらに使うには
暗い場所で撮影する ►露出を補正する[P78] ►フラッシュを設定する[P59] ►シーン機能を使う（夜景ポートレート・花火・ランプモード）[P52]		
	カメラの感度を上げる ►ＩＳＯ感度を設定する[P76]	
人物を撮影する ►シーン機能を使う（ポートレート・夜景ポートレート・コスメ・フェイスチェイサー）[P52・57] ►フラッシュを設定する（赤目軽減）[P59]		
風景を撮影する ►シーン機能を使う（風景モード）[P52]		
自分も撮影する ►セルフタイマーを設定する[P61]		
	明るく/暗く撮影する ►露出を補正する[P78]	**一部分の明るさだけを測って撮影する** ►測光方式を設定する[P75] **カメラの感度を調整する** ►ＩＳＯ感度を設定する[P76]
	色を変えて撮影する ►シーン機能を使う（モノクロ・セピアモード）[P52]	**自然な白に撮影する** ►ホワイトバランスを設定する[P77]

再生

基本的な使いかた	便利な機能	さらに使うには
とりあえず再生をする ►動画クリップ再生をする[P49]	**再生音量を設定する** ►サウンドを設定する[P103]	
►静止画像を再生する[P40]	**画像データを探す** ►9画面マルチ再生をする[P41] ►フォルダを選んで再生する[P42] **画像の一部を大きく表示する** ►拡大（ズーム）表示をする[P43]	**ピント合わせの状態をチェックする** ►ズームジャンプ再生をする[P44] **表示の角度を変える** ►画像を回転表示する[P83]
連続して再生する ►スライドショー再生をする[P98]		
モニターの表示を明るく/暗くする ►モニターの明るさを設定する[P36]		
テレビで再生する ►テレビに接続する（再生のしかた）[P120]		**TVへの出力方式を設定する** ►ＴＶ方式を設定する[P107]

データの管理/加工

基本的な使いかた	便利な機能	さらに使うには

画像を補正する

►手ぶれ画像を補正する[P85]
►コントラストを補正する[P87]
►赤目現象を補正する[P89]

内蔵メモリーとカードの間でファイルをコピーする

►ファイルをコピーする[P91]

ファイルを消す

►ファイルを消去する[P45]

大切な画像を保護する

►プロテクト（消去禁止）を設定する[P82]

カードを初期化（フォーマット）する

►カード・内蔵メモリーを初期化する[P112]

印刷枚数や日付印刷の設定をする

►プリントを設定する[P93]

撮影した時の情報を見る

►画像情報を表示する（インフォ画面）[P99]

パソコンでの利用

基本的な使いかた	便利な機能	さらに使うには

カメラをカードリーダーとして使う

►パソコンに接続する[P121]

カメラのファイルをパソコンにコピーする

►カメラをパソコンにデータをコピーする[P121]

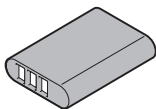
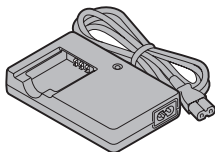
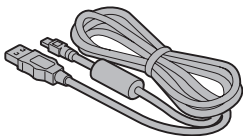
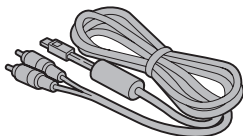
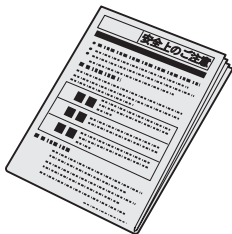
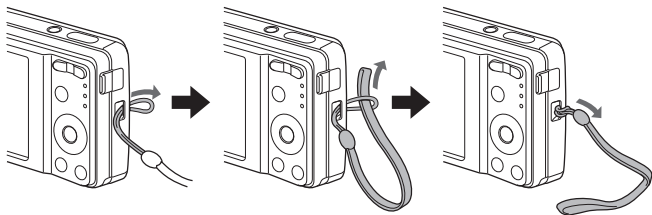
再生する

►カメラで撮影した動画クリップデータについて[P122]

付属品を確認する

●ハンドストラップ：1 本

● CD-ROM(R50 Software)
:1 枚

●リチウムイオン電池：1 個

●充電器と電源コード

●専用 USB 接続ケーブル：1 本

●専用AV接続ケーブル：1本

●安全上のご注意(安全注意説明書)
※必ずお読みください。

ハンドストラップの付けかた

このカメラで使えるカードについて

このカメラに装着し、使用できるカードは以下のとおりです。

- **SDメモリーカード**
- **SDHCカード**

カードの表記について

- 本書では、このカメラで使用できるSDメモリーカードやSDHCカードを「カード」と表記します。

このカメラの楽しみかた

素早いピント合わせや豊富なシーン機能など、デジタルカメラならではの機能を数多く搭載しております。

豊富なシーン機能 [P52]

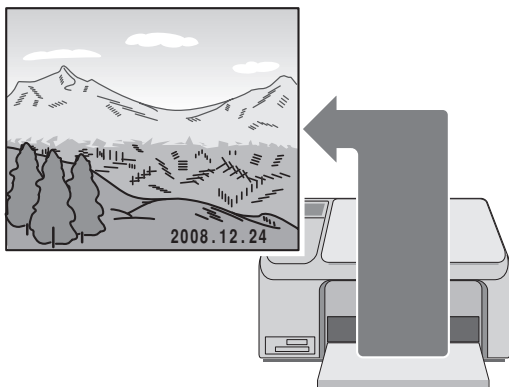
撮影条件に応じたさまざまな設定（絞りやシャッタースピードなど）を登録済みの設定から選んで撮影することができます。

静止画補正機能 [P85]

静止画撮影時に赤く写ってしまった目（赤目現象）やカメラが動いてぶれた（手ぶれ）画像を自然な状態に補正します。また、ぼんやりと写ってしまった画像をくっきりとした画像に補正すること（コントラスト補正）もできます。

<例：赤目補正画面>

日付写し込み機能 [P79]

プリンターに日付を印刷する機能がなくても、「日付写し込み機能」を使うと、画像に日付を印刷することができます。

システムマップ

付属品を使うと、カメラをパソコンやプリンタ、テレビに接続することができます。パソコンに接続すると、撮影した画像をパソコンのハードディスクなどにコピーすることができます。プリンタに接続すると、撮影した画像を直接プリントすることができます。また、カードを使うと撮影した画像をプリントショップでプリントすることもできます。

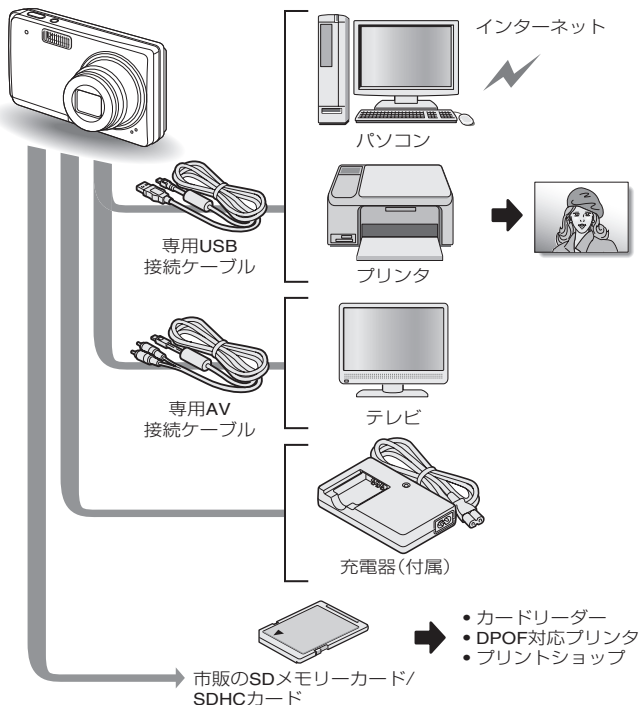
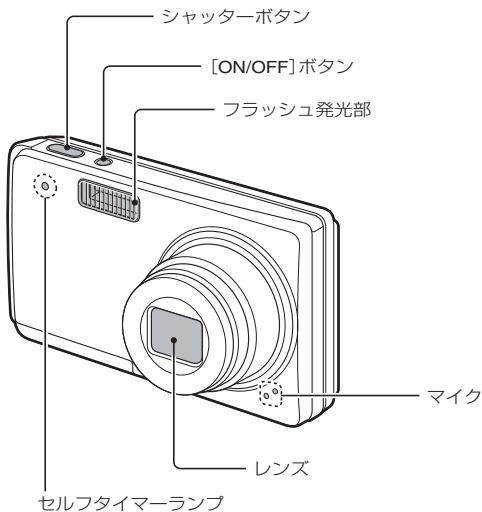
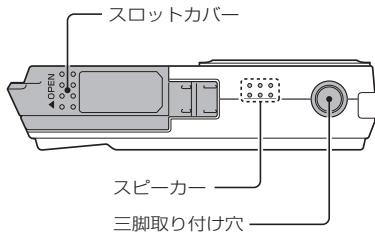
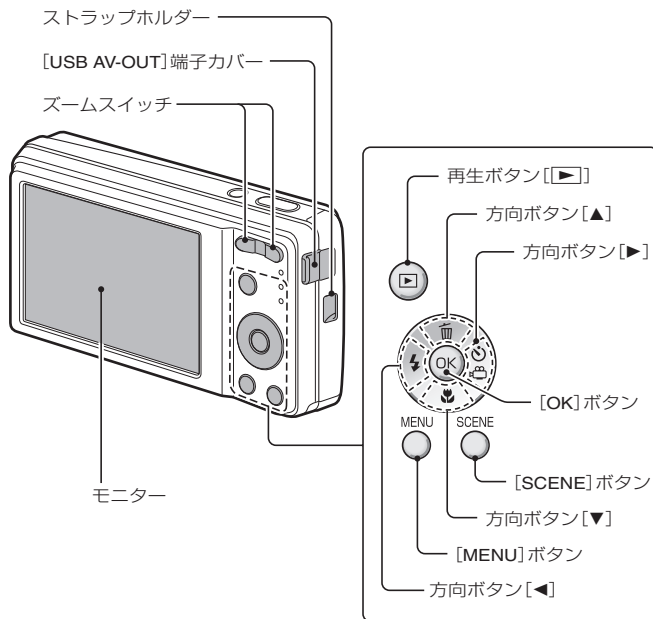
各部の名前

前面

シャッターボタン
［ON/OFF］ボタン
フラッシュ発光部
マイク
レンズ
セルフタイマーランプ

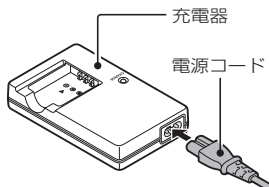
底面

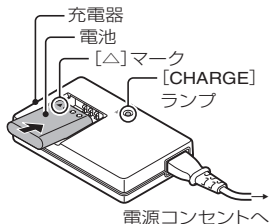
後面

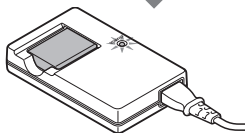
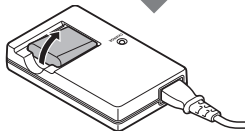
ストラップホルダー
[USB AV-OUT]端子カバー
ズームスイッチ
モニター
再生ボタン[►]
方向ボタン[▲]
方向ボタン[►]
OK
[OK]ボタン
MENU
SCENE
[SCENE]ボタン
方向ボタン[▼]
[MENU]ボタン
方向ボタン[◄]

電池を充電する

付属の電池を充電します。

1 付属の電源コードを充電器の電源ソケットに差し込む

- まっすぐ確実に差し込んでください。

2 電池を充電器の電池取り付け部に装着する

- 電池の[△]マークの方向に取り付けます。

3 電源プラグを電源コンセント(AC100V)に差し込む

- 充電が始まります。
- 充電中、[CHARGE]ランプは点灯します。

4 [CHARGE]ランプが消灯したら、電源プラグを電源コンセントから抜き、電池を充電器から取りはずす

- 充電時間は約2時間30分です。

電池の充電について

付属または別売の電池は、ご使用の前に必ず充電してください。
電池の充電には、付属の充電器を使います。
電池を初めて使う場合や、電池残量が少なくなったときは、充電してください(「電池残量をチェックする [P118])。

電池が熱い?

- 充電中、充電器や電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。

充電中、テレビやラジオに雑音が入るときは?

- テレビやラジオから離れた場所で充電してください。

充電時の周囲温度について

- 充電時の周囲温度は、約10℃~35℃に保たれていることをおすすめします。約0℃以下では、電池の特性により、十分に充電ができない場合があります。
- 電池が高温になると、保護機能が働いて充電を停止することがあります。

次のような電池も充電してから使用してください

- 長期間使用していない電池
- 新しい電池の使い始め

リサイクルについて

リチウムイオン電池はリサイクルへ

- このカメラには、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リチウムイオン電池の交換および、ご使用済み商品の廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。
- ご使用済みのリチウムイオン電池は、短絡防止のため、端子に絶縁テープを張って、リサイクルにご協力ください。

電池を充電する(つづき)

[CHARGE] ランプについて

電池と充電器の状態は、[CHARGE] ランプで確認できます。異常は点滅表示でお知らせしますので、下記にしたがって点検・操作してください。

CHARGEランプ	消　灯	**正しく接続できていない** ●充電するときは、電源コードの電源プラグを電源コンセントに、一方のプラグを充電器の電源ソケットに差し込む[P19]。 ●電池を装着していない。または電池を正しく装着していない[P19]。 **充電終了**
	点　灯	充電中
	点　滅	**電池または充電器の異常** ●すぐに電池を取りはずしてください。 ●異常な電池は使用しないでください。(電池の寿命が尽きたと考えられます。)

注意!

長時間使用した直後に充電しない

●カメラを長時間使用した直後は電池が熱くなっています。この状態で充電しようとすると、保護機能が働いて充電できない場合があります。長時間使用した後は、電池の温度が下がってから充電してください。

電池が膨らんだ?

●本製品に使われているリチウムイオン電池は、高温環境での保存や繰り返しの使用によって電池が少し膨らむことがありますが、安全上の問題はありません。

内蔵バックアップ用電池について

- 本機は、日付・時刻や撮影の設定など、カメラの設定を保持しておくための電池を内蔵しています。この電池を充電するため、電池は約2日間装着した状態にしてください。内蔵バックアップ用電池は、満充電状態で約7日間、カメラの設定を保持します。

長期間使用しないときは電池を取りはずす

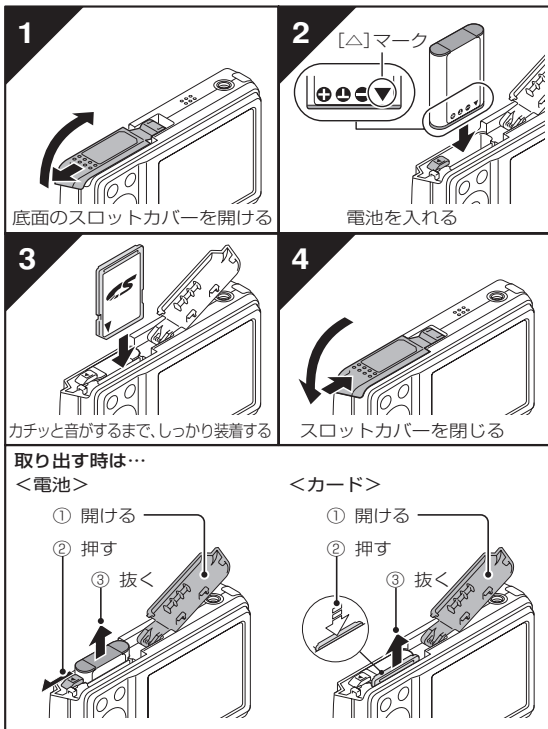
- 電池は、電源が切れている状態でもわずかずつ消耗しますので、本機を長期間使用しないときは電池を取りはずしておくことをおすすめします。ただし電池を取りはずすと、日付・時刻や他の設定をしている場合は設定をクリアする場合がありますので、ご使用の前にカメラの設定を確認してください。

電池を長く快適にお使いいただくために

- 電池は消耗品ですが、以下のような事がらに配慮して使うことで、より長い期間ご使用いただくことができます。
  - ・夏場の炎天下など高温環境下に放置しない。
  - ・満充電の状態で繰り返して充電をしない。満充電した後は、ある程度使ってから充電する。
  - ・長期間使用しない場合、できるだけ満充電状態は避け、冷暗所に保管する。

電池とカードをセットする

セットのしかた

- カードは、本機で初期化(フォーマット)[P112] してからご使用ください。
- 電池やカードは、向きに注意して入れてください。

カードの取り出しにご注意
- カードは無理に抜かないでください。
- パソコンやプリンタに接続していて、セルフタイマーランプが速い周期で点滅している時は、絶対にカードを取り出さないでください。カード内のデータを破損するおそれがあります。

カードの着脱が完全に終わるまでカードから指を離さない
- カードを完全に着脱する前にカードから指を離すと、カードが勢いよく飛び出し、カードの紛失やカードが目に当たってけがをする場合があります。

カードがなくても撮影できます
- カードを装着するとカードで撮影/再生ができ、カードを装着しない場合は内蔵メモリーで撮影/再生ができます。また、カードを装着しないで電源を入れると、モニターに内蔵メモリーアイコン INT が出ます。

温度上昇についてご注意

- カメラにセットした電池の温度が上昇すると、温度警告アイコン が液晶モニターで点滅します。温度警告アイコンが点滅した場合は、できるだけ早くカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから使用を再開してください。
- 電池の温度が高いまま使用を続けると、自動的にカメラの電源が切れますので、ご注意ください。

電源を入れる／切る

電源の入れかた

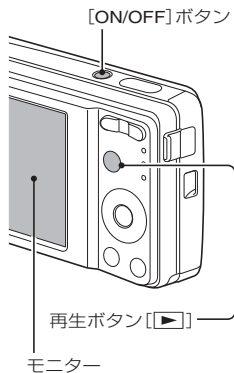
撮影をする場合

1 **[ON/OFF]ボタンを押す**

- 電源が入ります。
- 電源を入れると、前回に電源を切った時の撮影モードになります。

再生をする場合

1 **再生ボタン[►]を約1秒以上押す**

- モニターに再生画面が出ます[P40・49]。

電源の切りかた

1 **[ON/OFF]ボタンを押す**

- 電源が切れます。

<再生ボタン[►]を押して電源を入れた場合は>

- 再生ボタン[►]または[ON/OFF]ボタンを押すと、電源が切れます。

オートパワーオフ機能について

電源の切り忘れなどによる電池の消耗を防ぐため、電源が入った状態で操作を行わないまま放置(撮影時:約1分間、再生時:約3分間(工場出荷時の設定))すると、自動的に電源が切れる「オートパワーオフ機能」が備わっています。

- オートパワーオフ機能が働いて電源が切れた場合は、[ON/OFF]ボタンを押して電源を入れてください。
- 電源が切れるまでの時間は、変更することができます[P108]。
- 専用USB接続ケーブルでカメラとパソコンまたはプリンタを接続している場合はオートパワーオフ機能が働かず、約12時間後に電源が切れます。

アイコンが出る?

- このカメラは、撮影時に撮影年月日を撮影画像に記録する機能を持っています。日付・時刻の設定[P27]を行っていないと、撮影画像に撮影年月日を記録できないため、アイコンが出ます。撮影画像に撮影年月日を記録する場合は、撮影の前に日付時刻の設定を行ってください。

日付・時刻を設定する

このカメラは撮影した日付・時刻を記録し、再生時に表示する時計機能を内蔵しています。撮影前には、日付・時刻が正しく設定できているか、確認してください。

[例]：2008年12月24日午後7時30分に合わせる場合

1 [ON/OFF]ボタンを押して電源を入れ、[MENU]ボタンを押す

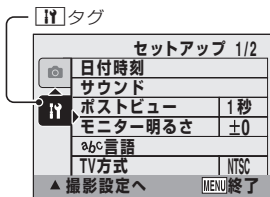
- 撮影設定メニューが出ます[P67]。

撮影設定 1/2

解像度	10M
圧縮率	FINE
フォーカス方式	9-AF
測光方式	⊞
ISO感度	AUTO
ホワイトバランス	AWB

▼セットアップへ　MENU終了

2 方向ボタンの[▼]を押して[🔧]タグを選んで[▶]を押す

- セットアップメニューが出ます[P101]。

3 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して[日付時刻]を選び、[OK]ボタンまたは方向ボタンの[▶]を押す

- 日付時刻画面が出ます。
- この状態で、現在の設定内容が確認できます。
- 再生時の撮影日表示、日付表示順序・日付・時刻合わせなどを設定する時は、以降の操作をしてください。
- セットアップメニューに戻る時は、[MENU]ボタンを押してください。

4 日付・時刻を設定する

❶方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、年の設定を変更する

・方向ボタンの[►]を押すと、設定する項目が選べます。
・同様にして月表示、日表示を選び、「2008年12月24日」に設定してください。

❷方向ボタンの[►]を押して時表示を選ぶ

❸方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、時刻の設定を変更する

❹方向ボタンの[►]を押して、年月日表示を選ぶ

❺方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、日付表示順序の設定を変更する

・[▼]を押すと、日付表示順序が以下のように変わります。

→年/月/日→月/日/年→日/月/年→表示なし

・[▲]を押すと、逆に切り替わります。

日付・時刻を設定する（つづき）

5 [OK]ボタンを押す

- 日付・時刻の設定が終わり、セットアップメニューに戻ります。
- セットアップメニューは、[MENU]ボタンを押すと消えます。

ヒント

- このカメラは電池を交換する時に内部時計をバックアップしますが、電池の使用時間によっては、日付・時刻の設定をクリアする場合があります（バックアップ時間は最長で約7日間）。電池交換後や撮影前は念のため、時刻表示を確認されることをおすすめします（操作1～3）。

日付・時刻を修正するには

- 操作4で修正したい表示を選び、設定を変更してください。

撮影の前に

カメラの構えかた

カメラをしっかり持って、脇をしめ、カメラがぐらぐらしないように構えてください。

良い例

悪い例

指がレンズまたはフラッシュ発光部にかかっている

レンズやフラッシュ発光部に、指やストラップがかからないように注意してください。

- 静止画像は、再生時に回転することができます[P83]。
- 光学ズーム使用時やオートフォーカス動作中に、画面が揺れる場合がありますが、故障ではありません。

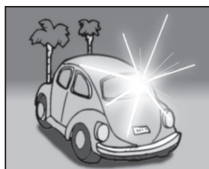
オートフォーカス(自動ピント合わせ)機能について

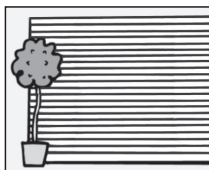
このカメラのオートフォーカス機能は、ほとんどの被写体に対して正常に動作しますが、苦手な被写体もあります。ここでは、オートフォーカス機能でのピント合わせがしにくい被写体を、うまく撮影する方法を紹介します。オートフォーカス機能でピントが合わない場合は、フォーカスレンジを設定して撮影してください[P63]。

■オートフォーカスの苦手な被写体

次のような条件では、オートフォーカス機能でのピント合わせが正常に動作しないことがあります。

- **コントラストのない被写体や画面中央に極端に明るいものがある被写体、または、被写体や撮影場所が暗い**

  撮影のしかた：被写体と同じ距離にある、コントラストのはっきりしたものでフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

- **縦線のない被写体**

  撮影のしかた：カメラを縦位置に構えてフォーカスロックした後、構図を横位置に戻して撮影してください。

次のような被写体では、オートフォーカス機能が動作してもピントが合わない時があります。

● **遠いものと近いものが共存する被写体**

撮影のしかた：ピントを合わせたい被写体と同じ距離にあるものにフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

● **動きの速い被写体**

撮影のしかた：撮影したい被写体と同じ距離の被写体であらかじめフォーカスロックした後、構図を決めて撮影してください。

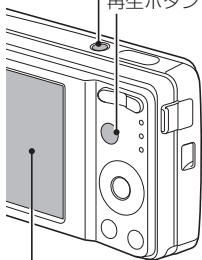
撮影の前に(つづき)

撮影/再生モードを切り替える

撮影をする撮影モードと、撮影した画像を再生する再生モードを切り替えます。

1 [ON/OFF]ボタンを押して電源を入れる

2 再生ボタン[►]を押す

- 再生ボタンを押すたびに、撮影モードと再生モードが切り替わります。

<撮影モード>

<再生モード>

再生モードで電源を入れるには

- 再生ボタン[►]を約1秒以上押すと、再生モードで電源が入ります。

撮影モードを切り替える

このカメラには 1 枚の静止画を撮影する「1 枚撮影モード」と動画クリップを撮影する「動画クリップ撮影モード」、静止画を連続撮影する「連写撮影モード」があります。

1 [ON/OFF]ボタンを押して電源を入れる

2 方向ボタンの[▶]を押す

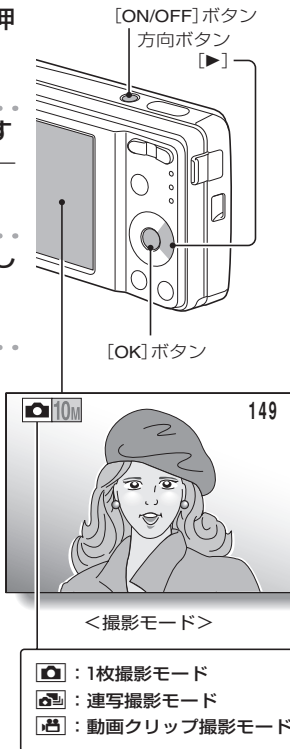
- 撮影モードとセルフタイマーを設定する画面が出ます。

3 方向ボタンの[▶]を押して撮影モードを選ぶ

4 [OK]ボタンを押す

- 撮影モードを設定しました。
- 撮影モードの設定は、モニター左上にアイコンで表示します。

<撮影モード>

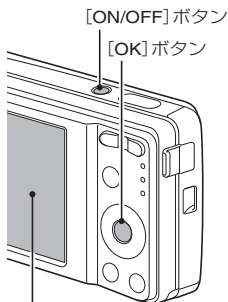
- ：1枚撮影モード
- ：連写撮影モード
- ：動画クリップ撮影モード

撮影の前に(つづき)

表示モードを切り替える

撮影モードのモニター表示には、撮影の設定状態を確認しながら撮影できる「設定表示モード」と、被写体がよく見えるように撮影の設定状態を表示しない「ノーマル表示モード」があります。

1 [ON/OFF]ボタンを押して、電源を入れる

2 [OK]ボタンを押す

- [OK]ボタンを押すたびに、設定表示モードとノーマル表示モードが切り替わります。

<設定表示モード>

<ノーマル表示モード>

モニターの明るさを設定する

モニターの明るさを変えることができます。周囲の明るさに合わせて、見やすい明るさに設定してください。

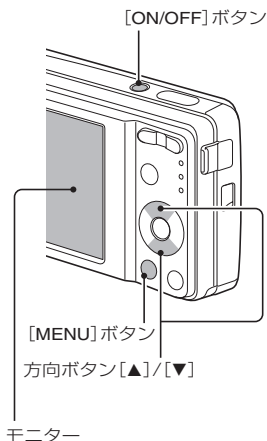
1 [ON/OFF]ボタンを押して、電源を入れる

2 [MENU]ボタンを約1秒以上押す

- モニター明るさメニューが出ます。

3 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、明るさを設定する

4 [MENU]ボタンを押す

- モニターの明るさを設定して、モニター明るさ画面が消えます。

- セットアップメニューの[モニター明るさ]を選んでも、モニターの明るさを設定することができます[P101]。

撮影のヒント

カメラから出る音(サウンド)を消したい

- シャッターボタンや[MENU]ボタン、[OK]ボタンなどを押した時に鳴る音を消すことができます[P103]。

撮影した画像の保存先は？

- すべて、内蔵メモリーまたはカメラに装着したカードに保存します。
- カードを装着している場合はカードに、カードを装着していない場合は内蔵メモリーに保存します。

逆光で撮影すると…

- 逆光で撮影した時は、CCDの特性上、光の筋(スミア)やゴースト模様(フレア現象)が現れることがあります。このような時は、逆光を避けて撮影してください。

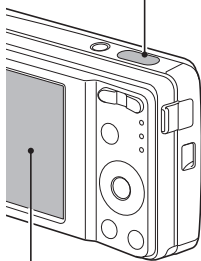
静止画撮影・再生をする

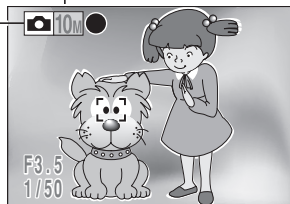
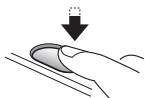
静止画撮影の機能には、1 度シャッターボタンを押すと 1 枚の静止画像が撮影できる 1 枚撮影と 1 度シャッターボタンを押すと連続して静止画像が撮影できる連写撮影があります。連写撮影については、47 ページを参照してください。

1枚撮影をする

1 1枚撮影モードにする [P34]

2 シャッターボタンを半分押す

- シャッターボタンを半分だけ押すと、オートフォーカスが働いてピント合わせを行います(フォーカスロック)。

3 シャッターボタンを静かに押す

- シャッターボタンは、カメラがぶれないよう静かに押し込んでください。
- シャッターボタンを押している間、撮影した瞬間の画像がモニターに出ます(ポストビュー)。

＜1 枚撮影画面＞

静止画撮影・再生をする(つづき)

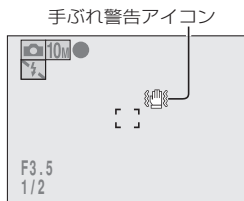
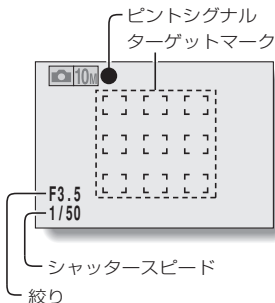
4 シャッターボタンから指を離す

- 撮影した画像を保存します。

フォーカス方式[P73]を9点測距 9-AF に設定している場合
- ピントが合った位置には、ターゲットマーク[ ]が出ます。
- ピントを合わせる位置は、撮影範囲の9箇所のフォーカスポイントからカメラが自動的に判断します。ターゲットマークが、目的でない位置に出た場合は、カメラアングルを変更するなどして、ピントを合わせ直してください。
- 画面中央の広い範囲にピントが合った場合は、大きなターゲットマークが出ます。

ピントシグナルについて
- ピントが合うと緑色、ピントが合っていない場合は赤色で点灯します。

シャッタースピードと絞り値が出ます
- モニターにはシャッタースピードと絞り値が出ます。撮影の参考にしてください。

手ぶれ警告アイコンが出たら?
- 静止画撮影時、シャッタースピードが遅くなり手ぶれの可能性が高くなると、モニターに手ぶれ警告アイコンが出ます。このような時は、三脚でカメラを固定して撮影時にカメラがぶれないようにするか、フラッシュ動作モードを自動発光[P59]に設定してください。
- シーン機能の花火[花火]撮影時、常に手ぶれアイコンが出ますが、異常ではありません。

静止画像を再生する

1 枚撮影した画像も連写撮影した画像も、再生方法は同じです。

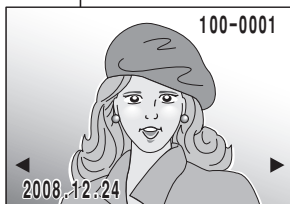
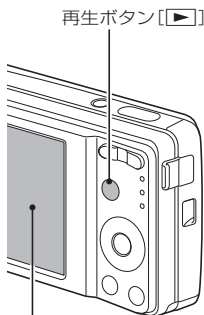
5 再生ボタン[►]を押す

- 再生ボタン[►]を押して電源を入れる場合は、再生ボタン[►]を1秒以上押してください。
- 先ほど撮影した静止画が、モニターに出ます。

6 他の画像を出す

- 方向ボタンの[◄]/[►]を押すと、前後に撮影した画像が出ます。
  前の画像を出す：[◄]を押す
  後の画像を出す：[►]を押す
- 再生ボタン[►]を押すと、撮影画面になります。

<再生ボタン[►]を押して電源を入れた場合は>

- 再生ボタン[►]または[ON/OFF]ボタンを押すと、電源が切れます。

操作が終わったら

- [ON/OFF]ボタンを押して電源を切ってください。

音声メモ[P54]を付けた静止画は？

- シャッターボタンを押すと、音声メモを再生します。

静止画撮影・再生をする（つづき）

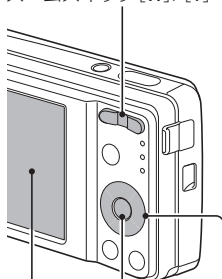
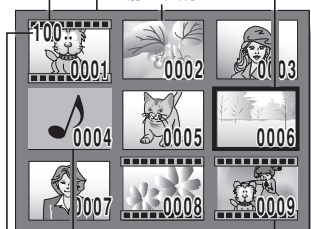
9画面マルチ再生をする

1 再生ボタン[▶]を押す

2 ズームスイッチの[W]（[田]）を押す

- 9画面マルチ再生表示になります。

3 再生する

- 方向ボタンを押し、再生する画像にオレンジ色の枠を合わせ、[OK]ボタンを押してください。
  [OK]ボタンの代わりに、ズームスイッチの[T]（[🔍]）を押しても、再生できます。

フォルダを選んで再生する

複数のフォルダの中から目的の画像を探す場合に便利です。

1 9画面マルチ再生をする[P41]

2 ズームスイッチの[W]（▦）を押す

- フォルダ選択画面が出ます。

3 再生するフォルダを選び、[OK]ボタンを押す

- 選んだフォルダの画像が出ます。
- この状態でズームスイッチの[T]（[🔍]）を押すと、選んだフォルダの画像を9画面マルチ表示します。

静止画撮影・再生をする(つづき)

拡大(ズーム)表示をする

1 拡大表示する画像を表示する

2 ズームスイッチの[T]([ ])を押す

- 拡大表示画面になります。
- 画像の中央部分を中心に、拡大表示します。
- 方向ボタンを押すと、表示部分が移動できます。

拡大する：ズームスイッチの[T]([ ])を押すごとに倍率が上がります。

元に戻す：ズームスイッチの[W]([ ])を押すごとに倍率が下がります。

- [OK]ボタンを押すと、通常表示(100%)の画面に戻ります。

拡大した画像が保存できます

- 拡大表示している時にシャッターボタンを押すと、拡大表示状態の画像を静止画として保存できます。

ズームジャンプ再生をする

静止画の部分を指定して拡大表示し、ピントが合っているかを確認することができます。

1 ズームジャンプ再生する静止画を表示する

2 [OK]ボタンを押す

- 画像を拡大表示します。
- この状態でピンボケになっていなければ、およそのピントは合っています。

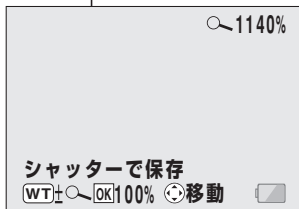
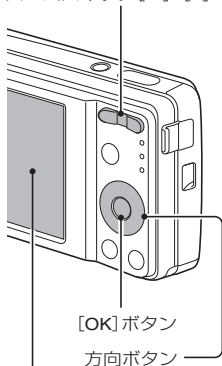
3 方向ボタンを押して拡大する部分を表示して、ズームスイッチの[T]([ ])を押す

- 表示していた部分をさらに大きく表示します。

拡大する：ズームスイッチの[T]([ ])を押すごとに倍率が上がります。

元に戻す：ズームスイッチの[W]([ ])を押すごとに倍率が下がります。

- [OK]ボタンを押すと、通常表示(100%)の画面に戻ります。

1140%
シャッターで保存
WT± OK100% 移動

静止画撮影・再生をする(つづき)

ファイルを消去する

ファイルの消去方法には、選んだファイルを1つずつ消去する方法と、すべてのファイルを一括して消去する方法があります。

1 カードのファイルを消去する場合はカードを装着し、内蔵メモリーのファイルを消去する場合はカードを取り出す

2 再生モードにし、方向ボタンの[▲]を押す

- 消去方法を選ぶ画面が出ます。

[全ファイル]:
すべてのファイルを消去します。

[1ファイル]:
表示しているファイルを消去します。

3 ファイルを消去する

<全ファイル消去する場合>

❶方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、すべてのファイルを消去しても良いかを確認する

❷方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[全ファイル]を選ぶ

❸[OK]ボタンを押す
- ・消去を確認する画面が出ます。消去しても良ければ[はい]を選んで[OK]ボタンを押してください。消去が終わると、[画像がありません]表示が出ます。

<1ファイル消去する場合>

❶方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、消去するファイルを表示する

❷方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[1ファイル]を選ぶ
・1ファイルずつ消去する場合、消去確認画面が出ません。操作❸で[OK]ボタンを押す前に、よくファイルを確認してください。

❸[OK]ボタンを押す
・表示中のファイルを消去します。
・続けてファイルを消去する場合は、操作❶～❸を行ってください。

注意!

プロテクトがかかっている画像は？

● プロテクトがかかっている画像は、消去できません。消去する場合は、プロテクトを解除してから消去してください[P82]。

連写撮影をする

シャッターボタンを押すと、連続して静止画が撮影できます。

1 連写撮影モードにする [P34]

連写撮影アイコン

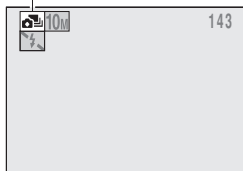
2 シャッターボタンを押して、撮影する

- 連続撮影を開始します。

<最大連写撮影枚数のめやす>

解像度	最大撮影枚数
10M	約7枚
7.5M	約9枚
6M	約12枚
4M	約19枚
2M	約40枚
0.3M	約170枚

※圧縮率をFINEに設定した場合の枚数です。
※最大連写枚数は、被写体によって異なります。

- 連写中にシャッターボタンを離すと、途中で撮影を終了します。

連写撮影時のピント合わせについて

- 連写撮影では、オートフォーカス機能はフォーカスロックした時に働き、ピントを固定します。

セルフタイマーやフラッシュ撮影はできる？

- 連写撮影時に、セルフタイマーやフラッシュは使えません。
- 以下のシーン機能は設定できません。

動画クリップ撮影・再生をする

動画クリップ撮影をする

1 動画クリップ撮影モードにする[P34]

2 シャッターボタンを押す

- 動画クリップ撮影を開始します。撮影中はモニターに撮影時間と撮影可能時間が出ます。
- 撮影中、シャッターボタンを押し続ける必要はありません。

3 撮影を終了する

- 動画クリップ撮影中にシャッターボタンを押すと、動画クリップ撮影を終了し、画像を保存します。

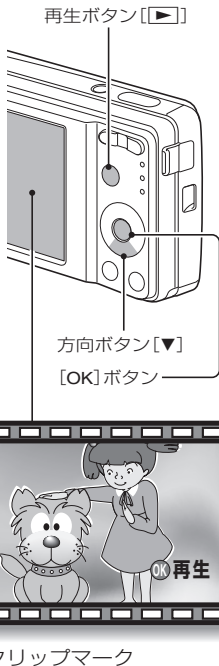
動画クリップ撮影・再生をする(つづき)

動画クリップ再生をする

4 再生ボタン[▶]を押す

- 再生ボタン[▶]を押して電源を入れる場合は、再生ボタン[▶]を1秒以上押してください。
- 先ほど撮影した動画クリップが、モニターに出ます。
- 動画クリップには、画面上下に動画クリップマークが出ます。

5 [OK]ボタンを押す

- 動画クリップの再生を開始します。
- 方向ボタンの[▼]を押すと、再生を中止します。

再生操作一覧

こうするには		こうします
再生中止		再生中に方向ボタンの[▼]を押す
一時停止		再生中に[OK]ボタンを押す 倍速/スロー再生中は方向ボタンの[▲]を押す
静止画抜き出し		一時停止中にシャッターボタンを押す
コマ送り再生	順方向	一時停止中に、方向ボタンの[►]を押す
	逆方向	一時停止中に、方向ボタンの[◄]を押す
スロー再生	順方向	一時停止中に、方向ボタンの[►]を押し続ける
	逆方向	一時停止中に、方向ボタンの[◄]を押し続ける
倍速再生	順方向	順方向再生中に方向ボタンの[►]を押す ※方向ボタンの[►]を押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 通常速度→2倍速→5倍速→10倍速→15倍速 方向ボタンの[◄]を押すと、再生速度が元に戻ります。
	逆方向	順方向再生中に方向ボタンの[◄]を押す ※方向ボタンの[◄]を押すたびに、再生速度が以下のように変わります。 15倍速←10倍速←5倍速 方向ボタンの[►]を押すと、再生速度が元に戻ります。
通常再生に戻す		[OK]ボタンを押す
音量調整		**大きくする**：再生中にズームスイッチの[T]を押す **小さくする**：再生中にズームスイッチの[W]を押す

操作が終わったら

● [ON/OFF]ボタンを押して電源を切ってください。

音声が出ない？

● コマ送り、スロー再生、倍速再生および逆方向再生時、音声は再生しません。

注意!

動画クリップは、データ量が多くなります

- 撮影したデータをパソコンにダウンロードして再生した時、ご使用になるパソコンによっては、画像処理能力が追いつかない場合があります。このため、再生画像がスムーズに動かないなどの現象になります(カメラのモニターでは、正常に再生できます)。

カード残量があるのに動画クリップ撮影が止まった?

- お使いのカードによっては、カードに残量があっても撮影を終了する場合があります。
- 動画クリップ撮影をする場合は、なるべく書き込み速度が速いカードをお使いください。

シーン機能を使う

撮影条件に応じたさまざまな設定(絞りやシャッタースピードなど)を登録済みの設定から選んで撮影することができます。

1 撮影モードにし[P33]、[SCENE]ボタンを押す

- シーン機能を選ぶ画面が出ます。

＜例：1枚撮影モード＞

2 方向ボタンを押して機能を選ぶ

＜各機能の特徴＞

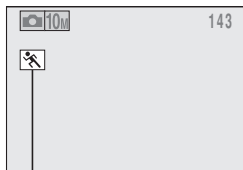
シーン機能	特　徴	撮影モード設定		
AUTO オート	カメラが最適な状態に設定します。	○	○	○
スポーツ	動きの速い被写体の一瞬を捉えることができます。	○	○	○
ポートレート	背景をぼかして、人物を引き立てた雰囲気のある撮影ができます(顔検出機能付き)。	○	○	○
風景	遠くの風景がきれいに撮影できます。	○	×	○
夜景ポートレート	バックの夜景を活かしながら、人物の撮影ができます。	○	×	○
花火	打ち上げ花火を撮影します。	○	×	○
ランプ	小さな光だけで撮影します。	○	×	○

シーン機能を使う（つづき）

シーン機能	特　徴	撮影モード設定		
		静止画	連写	動画
音声付静止画	1枚の静止画を撮影し、音声メモを付けます。	○	×	×
ベストショット	設定を変えながら、4枚の静止画を連続して撮影します。	○	×	×
フェイスチェイサー	顔にピントや明るさを合わせて撮影します。	○	○*	○*
コスメ	人物を撮影する時、お肌をきれいに撮影できます。	○	○	○
モノクロ	モノクロ（白黒）撮影ができます。	○	○	○
セピア	色調をセピアカラーにした撮影ができます。	○	○	○
コントラスト	画像の明暗を強調します。	○	○	○
ビビッド	画像の彩度を強調します。	○	○	○

○：設定できます。　×：設定できません。
＊：記録中は無効です。

3 [OK]ボタンを押す

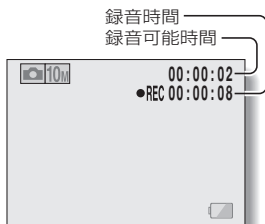
- シーン機能を設定しました。
- 撮影画面に戻ります。
- シーン機能の設定はモニターに出ます。

シーン機能の設定
（AUTO は出ません）

音声付き静止画撮影をする

シーン機能の音声付き静止画 [icon] では、撮影した静止画に最大約10 秒間の音声を付けることができます。この音声を「音声メモ」といいます。

1 シーン機能を選ぶ画面[P52]で [icon] を選び[OK]ボタンを押す

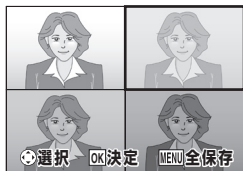
2 シャッターボタンを押して、撮影してから、マイクに向かってしゃべる

- 録音中は、マイクを指などでふさがないように注意してください。
- 録音を開始します。録音中はモニターに録音時間と録音可能時間が出ます。
- 音声メモは、最大約10秒間録音できます。
- 10秒以内に録音を終わる場合は、シャッターボタンを押してください。

ベストショット撮影のしかた

1 1枚撮影モードにする [P34]

2 シーン機能を選ぶ画面 [P52]で を選び、[OK]ボタンを押す

3 シャッターボタンを押す

- 設定を変えながら、4枚の静止画を連続して撮影します。
- 撮影後、撮影した4枚の静止画がモニターに出ます。

4 方向ボタンを押して、保存する画像にオレンジ色の枠を合わせて選ぶ

- [OK]ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示することができます。
- 大きく表示した状態で、方向ボタンの[◄]/[►]を押すと、前後の画像を表示することができます。

<4枚とも保存する場合は>

- 撮影した4枚の画像を表示している状態で、[MENU]ボタンを押してください。

5 保存する画像を大きく表示し、［はい］を選んで［OK］ボタンを押す

- 表示中の画像を保存し、残りの画像は消去します。

シーン機能を使う（つづき）

フェイスチェイサー撮影のしかた

顔の部分が最適な状態で撮影できるよう、カメラが自動的にピントや露出を合わせます。

1 シーン機能を選ぶ画面[P52]で [顔] を選び、[OK]ボタンを押す

2 レンズを被写体に向ける

- カメラが顔を検出し、検出すると緑色の枠が出ます。
- この時、シャッターボタンに触れないでください。オートフォーカスが働くと、顔を検出することができません。

3 フォーカスロック[P38]する

- 顔にピントと露出が合います。
- 顔にピントが合うと、緑色の枠がオレンジ色に変わります。

4 シャッターボタンを押す

- 撮影します。

注意！

- デジタルズームは使用できません。
- ズーム動作中は、顔を検出することができません。
- モニターに映る顔が小さかったり暗かったりすると、顔を検出できない場合があります。

ズーム撮影をする

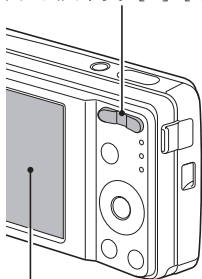
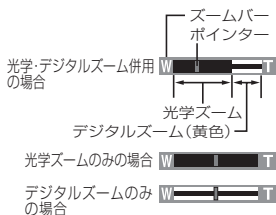
ズーム機能には光学ズームとデジタルズームがあります。

1 撮影モードにし[P33]、被写体にレンズを向ける

2 ズームスイッチを押して、構図を決める

[T]：望遠画面になります。

[W]：広角画面になります。

- ズーム動作に入ると、モニターにズームバーが出ます。
- 光学ズームが最大倍率になると、ズーム動作がいったん止まります。再度ズームスイッチの[T]を押すと、デジタルズームに切り替わり、ズーム動作が再開します。

3 撮影する

デジタルズームが使えない？

- シーン機能をフェイスチェイサー、ポートレートモードに設定している、またはフォーカス方式をAFシーカーに設定していると、デジタルズームは使えません。

光学ズームが使えない？

- フォーカスレンジをパンPFに設定しているまたは、動画クリップ録画中は光学ズームは使えません。

フラッシュを設定する

フラッシュは暗い場所での撮影だけでなく、被写体が影になっている時や逆光の場合などでも役に立ちます。
フラッシュには、4 つの動作(オート / 強制発光 / 発光禁止 / 赤目軽減)があります。状況に応じて使い分けてください。
フラッシュを使って撮影できるのは 1 枚撮影のみです。

1 1 枚撮影モードにし[P34]、方向ボタンの[◀](⚡)を押す

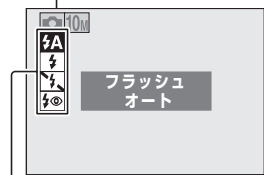
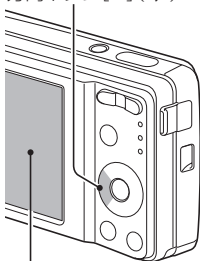
フラッシュメニュー

- フラッシュメニューが出ます。

⚡A：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが発光します。また、逆光で画面中央が極端に暗い場合は逆光と判断し、発光します(オート)。

⚡：被写体の明るさに関わらずフラッシュが発光します。逆光などで被写体が影になっていたり、蛍光灯などの照明で撮影する時に使います(強制発光)。

⚡禁止：暗い場所でもフラッシュは発光しません。フラッシュが使えない場所や、夜景を撮影する時などに使います(発光禁止)。

⚡◎：被写体の明るさを判断し、必要な場合は自動的にフラッシュが予備発光した後に正式発光します。この時、人物の目が赤く写る現象(赤目現象)を軽減します(赤目軽減)。

2 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、フラッシュ動作を選び、[OK]ボタンを押す

3 シャッターボタンを押して撮影する

- 設定したフラッシュ動作で撮影します

オートの時は

- フラッシュの設定を示すアイコン[⚡A]は、撮影画面に出ません。

オートまたは赤目軽減の時は

- 撮影でフラッシュが必要な場合は、ピントが合った時に[⚡A]または[⚡◉]アイコンがモニターに出て、フラッシュの発光をお知らせします。

セルフタイマーを設定する

1 枚撮影モードでは、セルフタイマーを使った撮影ができます。

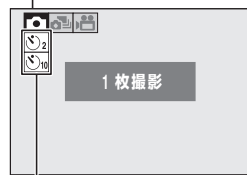
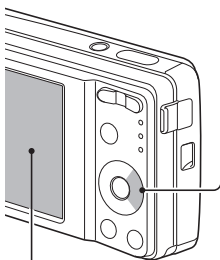
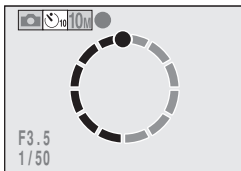
1 1 枚撮影モードにし[P34]、方向ボタンの[▶](セルフタイマー）を押す

- セルフタイマーメニューが出ます。

セルフタイマー2：シャッターを押した2秒後にシャッターを切ります。

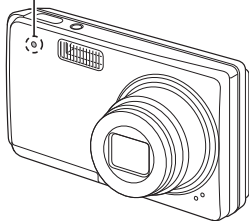
セルフタイマー10：シャッターを押した10秒後にシャッターを切ります。

2 方向ボタンの[▲]/[▼]を押してセルフタイマーの設定を選び、[OK]ボタンを押す

- セルフタイマーを設定し、撮影画面に戻ります。

- モニターには、シャッターが切れるまでのタイミングを表示します。

セルフタイマー撮影を中断/中止するには

- セルフタイマー撮影を中断する時は、シャッターが切れる前に、もう一度シャッターボタンを押します。再度セルフタイマー撮影をする時は、シャッターボタンを押します。
- セルフタイマー撮影を中止する時は、セルフタイマーを使わない設定 にしてください。
- セルフタイマー撮影が終わると、セルフタイマーを使わない設定になります。

アイコンを選んだ場合は

- シャッターボタンを押すとセルフタイマーランプが約10秒間点滅した後、撮影を開始します。
- 撮影を開始する約3秒前になると、セルフタイマーランプの点滅が速くなります。

フォーカスレンジを設定する

1 撮影モードにし[P33]、方向ボタンの[▼]( )を押す

- フォーカスレンジメニューが出ます。

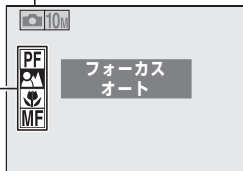
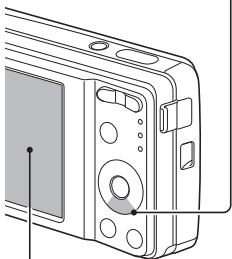
PF：以下の範囲でピントを合わせます(パン)。

＜静止画撮影＞
絞り値最大時：2.2m～∞
絞り値最小時：1.3m～∞

＜動画クリップ撮影＞
Wide端：
絞り値最大時:45cm～∞
絞り値最小時:28cm～∞
Tele端：
絞り値最大時:4.8m～∞
絞り値最小時:4.2m～∞

：40cm(Wide端)または90cm(Tele端)～∞mの範囲で、自動的にピントを合わせます(オート)。

：以下の範囲でピントを合わせます(マクロ)。
Wide端：10cm～50cm
Tele端：60cm～1m

MF：焦点距離を10cmから10mの間で任意に設定でき、∞に設定することもできます(マニュアル)。

2 方向ボタンの[▲]/[▼]を押してフォーカスレンジを選び、[OK]ボタンを押す

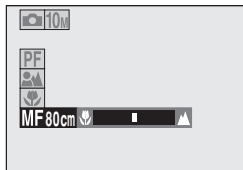
- フォーカスレンジを設定し、撮影画面に戻ります。

- 1枚または連写撮影の場合、マクロ[🌷]に設定するとズームをWide端より1段Tele側にします。また、パン[PF]に設定するとズームをWide端にします。

フォーカスレンジを設定する（つづき）

マニュアルフォーカスの使いかた

1 フォーカスレンジメニューからマニュアル MF を選び、[OK]ボタンを押す

- 焦点距離を設定するバーが出ます。

2 方向ボタンの[◀]/[▶]を押して焦点距離を設定し、[OK]ボタンを押す

- 焦点距離を設定し、撮影画面に戻ります。

ヒント

焦点距離について

- 焦点距離の表示は、レンズ面からの距離です。
- マニュアルフォーカスで設定する焦点距離の数値と実際の被写体までの距離に、多少の相違が出る場合があります。ピント合わせの確認は、モニターに映る画像でお確かめください。

マニュアルフォーカス使用時のズーム動作について

- 焦点距離を50cm以下に設定すると、ズーム位置は焦点距離に適合した最大の位置になります。
- 焦点距離を50cm以下に設定している場合、ズームはピントが合う範囲でのみ動作します。

撮影設定メニューを出す

撮影に関する細かな設定は、撮影設定メニューから行います。

1 撮影モードを設定する [P34]

2 [MENU]ボタンを押す

- 操作1で設定した撮影モードの撮影設定メニューが出ます。
- 撮影設定メニューは、[MENU]ボタンを押すと消えます。

撮影設定メニューを出す(つづき)

撮影設定メニューの紹介

撮影設定 1/2

	項目	設定
❶	解像度	10M
❷	圧縮率	FINE
❸	フォーカス方式	9-AF
❹	測光方式	⊞
❺	ISO感度	AUTO
❻	ホワイトバランス	AWB
❼	露出補正	▶ ±0
❽	日付写し込み	▶ OFF

▼セットアップへ　MENU 終了

※❼〜❽は、方向ボタンの[▲]/[▼]を押すと出ます。

❶解像度メニュー/動画サイズメニュー[P69]

＜1枚/連写撮影モード＞
- 10M：3,648×2,736ピクセルで撮影します。
- 7.5M：3,648×2,056ピクセル（縦横比16：9)で撮影します。
- 6M：2,816×2,112ピクセルで撮影します。
- 4M：2,288×1,712ピクセルで撮影します。
- 2M：1,600×1,200ピクセルで撮影します。
- 0.3M：640×480ピクセルで撮影します。

＜動画クリップ撮影モード＞
- TV：640×480ピクセルで撮影します。
- WEB：320×240ピクセルで撮影します。
- 🎤：音声のみを記録します[P70]。

❷圧縮率メニュー(1枚/連写撮影モードのみ)[P72]
- FINE：低圧縮で撮影します。
- NORM：標準圧縮で撮影します。

❸フォーカス方式メニュー[P73]
- 9-AF：9点測距で撮影します。
- S-AF：スポットフォーカスで撮影します。
- AF：フォーカスロックした被写体にフォーカスを追従します。

❹測光方式メニュー[P75]
- ：多分割測光になります。
- ：中央重点測光になります。
- ：スポット測光になります。

❺ISO感度メニュー[P76]
- ISO-A：自動的に感度を設定します(ISO50～200)。
- 50：ISO感度50に設定します。
- 100：ISO感度100に設定します。
- 200：ISO感度200に設定します。
- 400：ISO感度400に設定します。
- 800：ISO感度800に設定します。
- 1600：ISO感度を1,600に設定します。
- 3200：ISO感度を3,200に設定します。

❻ホワイトバランスメニュー[P77]
- AWB：カメラが自動的に判断し、撮影します。
- ：晴天時の設定です。
- ：曇天時の設定です。
- ：蛍光灯照明時の設定です。
- ：白熱灯照明時の設定です。
- ：より正確にホワイトバランスを設定します。

❼露出補正メニュー[P78]
明るさを変えて撮影します。

❽日付写し込みメニュー[P79]
撮影時、日付を写し込みます。

※ 同時に設定できない機能を設定した場合は、後から設定した機能を優先し、他方の設定を自動的に変更します。

解像度／動画サイズを設定する

解像度(ピクセル数)は、数値が大きいほどきめ細かな撮影が可能ですが、ファイルサイズが大きくなります。画像の使用目的に応じた画質に設定してください。

1 撮影設定メニューを出す[P66]

2 1枚撮影モードまたは連写撮影モードの場合は[解像度]、動画クリップの場合は[動画サイズ]を選び、[OK]ボタンを押す

- 解像度メニューまたは動画サイズメニューが出ます。

<1枚/連写撮影モード>

10M：3,648×2,736ピクセルで撮影します。
7.5M：3,648×2,056ピクセル(縦横比16：9)で撮影します。
6M：2,816×2,112ピクセルで撮影します。
4M：2,288×1,712ピクセルで撮影します。
2M：1,600×1,200ピクセルで撮影します。
0.3M：640×480ピクセルで撮影します。

<動画クリップ撮影モード>

TV：640×480ピクセルで撮影します。
WEB：320×240ピクセルで撮影します。
🎙：音声のみを記録します[P70]。

3 目的のアイコンを選び、[OK]ボタンを押す

- 解像度/動画サイズを設定しました。

音声を記録/再生する

動画クリップ撮影モードでは、音声のみを録音することができます。音声は、モノラルで録音します。

音声を記録する

1 **動画クリップ撮影モードの撮影設定メニューを出す[P66]**

2 **動画サイズメニューから音声アイコン[マイク]を選び、[OK]ボタンを押す**

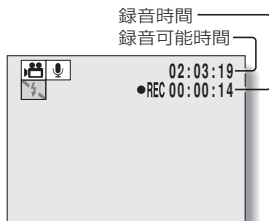
3 **[MENU]ボタンを押す**

- 録音可能状態になります。

4 **シャッターボタンを押す**

- 録音を開始します。録音中はモニターに録音時間と録音可能時間が出ます。
- シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
- 録音中は、マイクを指などでふさがないように注意してください。

5 **録音を終了する**

- もう一度シャッターボタンを押すと、録音が終了します。

解像度／動画サイズを設定する(つづき)

音声を再生する

録音した音声を再生します。

1 音声データを表示する

● 画面に音符マークが出ます。

2 再生する

こうするには	こうします
順方向再生	[OK]ボタンを押す
再生中止	再生中に方向ボタンの[▼]を押す
一時停止	再生中に[OK]ボタンを押す 早送り/早戻し中は方向ボタンの[▲]を押す
早送り	順方向再生中に方向ボタンの[►]を押す ※方向ボタンの[►]を押すたびに、速度が以下のように変わります。 通常速度→2倍速→5倍速→10倍速→15倍速 方向ボタンの[◄]を押すと、速度が元に戻ります。
早戻し	順方向再生中に方向ボタンの[◄]を押す ※方向ボタンの[◄]を押すたびに、速度が以下のように変わります。 15倍速←10倍速←5倍速 方向ボタンの[►]を押すと、通常再生に戻ります。
通常再生に戻す	[OK]ボタンを押す
音量調整	**大きくする**：再生中にズームスイッチの[T]を押す **小さくする**：再生中にズームスイッチの[W]を押す

● 5倍速以上の倍速再生時、音声は再生しません。

圧縮率を設定する

撮影画像データの圧縮率が設定できます。圧縮率の設定を変えると、同じ解像度で撮影しても、データ量を小さくして撮影枚数を多くしたり、画質を優先した撮影ができます。

1 撮影設定メニューを出す[P66]

2 圧縮率メニューを選び、[OK]ボタンを押す

- 圧縮率メニューが出ます。

FINE：低圧縮で保存します。ファイルサイズが大きくなりますが、画質は良くなります。

NORM：標準圧縮で保存します。ファイルサイズが小さくなりますが、画質は低下します。

3 目的のアイコンを選び、[OK]ボタンを押す

- 圧縮率を設定しました。

フォーカスエリアを設定する

オートフォーカス(ピント合わせ)の方式が選べます。
9 点測距フォーカス：モニターから見える撮影範囲の 9 箇所のフォーカスポイントでピントを合わせます。ピントが合ったところには、ターゲットマーク ⛶ が出ます。
スポットフォーカス：モニターの中央部分の被写体にフォーカスを合わせます。
AF シーカー：フォーカスロック [P38] した被写体にフォーカスを固定します。被写体の動きに合わせて、フォーカスポイントを自動で移動します。

1 撮影設定メニューを出す[P66]

2 [フォーカス方式]を選び、[OK]ボタンを押す

- フォーカス方式メニューが出ます。

9-AF：9点測距フォーカスになります[P39]。

S-AF：スポットフォーカスになります。

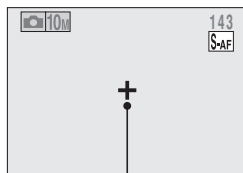
AF⊙：AFシーカーになります。

- S-AF、AF⊙に設定した場合は、モニター中央にフォーカスマーク+が出ます。

フォーカスマーク

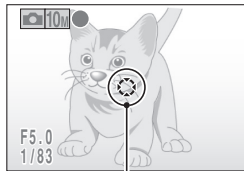
3 目的のアイコンを選び、[OK]ボタンを押す

- フォーカスエリアを設定しました。

撮影
フォーカスエリアを設定する

スポットフォーカスに設定した場合

- 画面の中央にフォーカスマーク＋が出ます。

AFシーカーに設定した場合

- 画面の中央にフォーカスマーク＋が出ます。
- フォーカスロックすると、ピントを合わせた部分にシーカーマークが出ます。
- フォーカスロックしている間は、ピントを合わせた被写体が移動しても、シーカーマークが自動的に被写体を追いかけ続けます。
- フォーカスロックに失敗した場合は、シーカーマークが消えます。
- 暗い場所ではシーカーマークの動きが遅くなる場合があります。
- AF設定時、デジタルズームは動作しません。

シーカーマーク

測光方式を設定する

カメラの測光方式は、以下の 3 種類から選べます。
多分割測光　：撮影画面全体の光量を分割して調光します。
中央重点測光：撮影画面の中央付近の光量に重点をおいて、撮影画像全体を調光します。
スポット測光：モニターの中央部分の光量だけを重点的に調光してから構図を決め、撮影することができます。

1 撮影設定メニューを出す [P66]

2 [測光方式]を選び、[OK]ボタンを押す

- 測光方式メニューが出ます。

[多分割アイコン]：多分割測光になります。
[中央重点アイコン]：中央重点測光になります。
[スポットアイコン]：スポット測光になります。

3 目的のアイコンを選び [OK]ボタンを押す

- 測光方式の設定ができました。

ＩＳＯ感度を設定する

初期設定では、自動的に被写体の明るさに応じてISO感度を設定するようになっていますが、ISO感度を固定することができます。

1 撮影設定メニューを出す[P66]

2 [ISO感度]を選び、[OK]ボタンを押す

- ISO感度メニューが出ます。

ISO-A：自動的に感度を設定します（ISO50～400（動画撮影時：ISO450～3,600））。
50：感度をISO50（動画撮影時：ISO450）に設定します。
100：感度をISO100（動画撮影時：ISO900）に設定します。
200：感度をISO200（動画撮影時：ISO1,800）に設定します。
400：感度をISO400（動画撮影時：ISO3,600）に設定します。
800：感度をISO800（動画撮影時：ISO7,200）に設定します。
1600：感度をISO1,600（動画撮影時：ISO7,200）に設定します。
3200：感度をISO3,200（動画撮影時：ISO7,200）に設定します。

3 目的のアイコンを選び、[OK]ボタンを押す

- ISO感度を設定しました。

ヒント

- ISO感度を高く設定するほど、速いシャッタースピードでの撮影や暗い場所での撮影が可能になりますが、撮影画像にノイズが増える場合があります。

動画クリップ撮影でフリッカー（画面のちらつき）が発生する？

- ISO感度を400以上に設定し、蛍光灯照明の下で動画クリップ撮影をすると、撮影画像に激しいフリッカーが発生する場合があります。

ホワイトバランスを設定する

このカメラは、光源の色が変化しても、撮影画像の色が変化しないように調整するホワイトバランス自動調整機能を搭載しています。特に光源を指定する場合は、ホワイトバランスの設定をしてください。

1 撮影設定メニューを出す[P66]

2 [ホワイトバランス]を選び、[OK]ボタンを押す

● ホワイトバランスメニューが出ます。

AWB：撮影現場の天候や照明をカメラが判別し、自動的にホワイトバランスを調整します。

☼：晴天時の設定です。

☁：曇天時の設定です。

蛍：蛍光灯による照明時の設定です。

白：白熱灯による照明時の設定です。

□：より正確にホワイトバランスをとる時の設定です(ワンプッシュ)。光源が特定できない場合などに使用してください。

ホワイトバランスメニューから□アイコンを選び、白い紙を画面いっぱいに表示して[OK]ボタンを押すと、ホワイトバランスが設定できます。他のホワイトバランス設定を行う場合は、操作3を行ってください。

3 目的のアイコンを選び、[MENU]ボタンを押す

● ホワイトバランスの設定ができました。

ホワイトバランスの設定を解除するには

● 操作1 2を行い、AWBアイコンを選んで[MENU]ボタンを押します。

露出を補正する

明るさを変えて撮影することができます。

1 被写体にレンズを向け、撮影設定メニューを出す[P66]

2 [露出補正]を選び[OK]ボタンを押す

- 露出補正を設定する画面が出ます。

3 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して補正値を選び、[OK]ボタンを押す

- 露出補正を設定し、撮影設定メニューに戻ります。

- 電源を切ると、露出補正の設定は「±0」になります。

日付を写し込む

撮影した画像に日付を写し込むことができます。

1 撮影設定メニューを出す[P66]

2 [日付写し込み]を選び、[OK]ボタンを押す

- 日付写し込みを設定する画面が出ます。

[ON]：日付を写し込みます。

[OFF]：日付を写し込みません。

3 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して設定を選び、[OK]ボタンを押す

- 日付写し込みを設定し、撮影設定メニューに戻ります。

撮影年月日と日付写し込みについて

- 画像を編集すると、撮影年月日の記録は画像編集を行なった日付に変わりますが、日付写し込みの日付は変わりません。

連写速度が遅い？

- 日付写し込みを[ON]に設定していると、連写速度が遅くなる場合があります。

写し込んだ日付が「----.--.--」になる？

- 日付・時刻を設定していません。カメラの日付・時刻を設定してください[P27]。

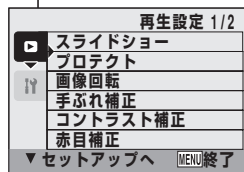
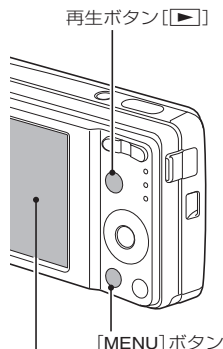
再生設定メニューを出す

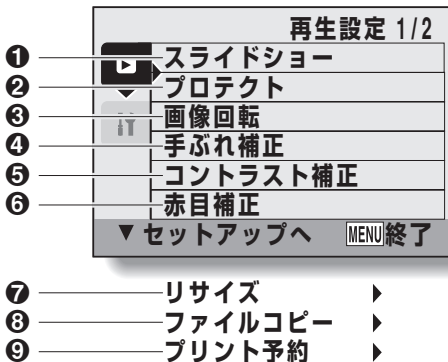
再生の設定は、再生設定メニューから行います 。

1 再生ボタン[▶]を押す

- 再生画面になります。

2 [MENU]ボタンを押す

- 再生設定メニューが出ます。
- 再 生 設 定 メ ニ ュ ー は、[MENU]ボタンを押すと消えます。

再生設定メニューを出す（つづき）

再生設定メニューの紹介

❶[スライドショー][P98]
- スライドショー再生をします。

❷[プロテクト][P82]
- データにプロテクト（消去禁止）を設定します。

❸[画像回転][P83]
- 静止画を回転表示します。

❹[手ぶれ補正][P85]
- カメラが動いてぶれた（手ぶれ）画像を自然な状態に補正します。

❺[コントラスト補正][P87]
- 画像に明暗（コントラスト）を付けて、はっきりした画像にします。

❻[赤目補正][P89]
- 赤く写った目を自然な状態に補正します。

❼[リサイズ][P84]
- 静止画の解像度を下げます。

❽[ファイルコピー][P91]
- カードと内蔵メモリーの間でファイルをコピーします。

❾[プリント予約][P93]
- 印刷の設定を行います。

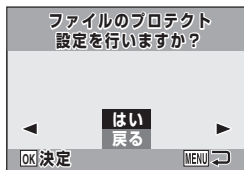
※❼～❾のアイコンは、方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、画面をスクロールすると出ます。

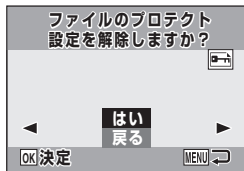
プロテクト(消去禁止)を設定する

データにプロテクト(消去禁止)を設定します。

1 プロテクトを設定するデータを表示し、再生設定メニューを出す[P80]

2 [プロテクト]を選び、[OK]ボタンを押す

- プロテクトを設定する画面が出ます。

3 [はい]を選び、[OK]ボタンを押す

- データにプロテクトを設定しました。
- プロテクトを設定したデータには、プロテクトマークが付きます。

注意!

- プロテクトをかけたデータでも、カードを初期化すると消えます[P112]。

ヒント

操作2・3の画面で、他の画像を選ぶには
- 方向ボタンの[◄]/[►]を押します。

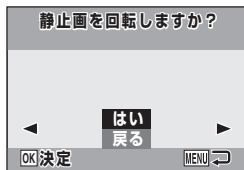
プロテクトを解除するには
- プロテクトを解除するデータを表示し、操作1～3を行ってください。

画像を回転表示する

静止画を回転して見ることができます。

1 回転する画像を表示し、再生設定メニューを出す [P80]

2 [画像回転]を選び、[OK]ボタンを押す

- 画像を回転する画面が出ます。

3 [はい]を選び、[OK]ボタンを押す

- [OK]ボタンを押すごとに、画像が90°回転します。

- 9画面マルチ再生では、回転した表示になりません。
- プロテクトした画像は回転できません。

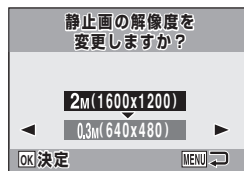
画像のサイズを変える(リサイズ)

解像度が 2M 以上の静止画像のサイズを 1,600 × 1,200 ピクセルまたは 640 × 480 ピクセルに変えて、新しく静止画像を作ることができます。

1 サイズを変える静止画像を表示し、再生設定メニューを出す[P80]

2 [リサイズ]を選び、[OK]ボタンを押す

- 静止画像の解像度を変更する画面が出ます。

静止画の解像度を
変更しますか？
2M(1600x1200)
0.3M(640x480)
OK 決定 MENU

3 変更後の画像サイズを選ぶ

[2M(1600×1200)]：1600×1200ピクセルにします。
[0.3M(640×480)]：640×480ピクセルにします。

4 [OK]ボタンを押す

- サイズ変更を開始します。

リサイズできない？

- 変更後の画像サイズより小さい画像をリサイズすることはできません。
- 解像度を7.5Mに設定して撮影した画像は、リサイズできません。

手ぶれ画像を補正する

カメラが動いてぶれた(手ぶれ)画像を自然な状態に補正します。

1 手ぶれを補正する画像を表示し、再生設定メニューを出す[P80]

2 [手ぶれ補正]を選び、[OK]ボタンを押す

- 手ぶれ補正画面が出ます。

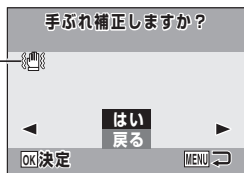
[はい]：手ぶれを補正します。

[戻る]：再生設定メニューに戻ります。

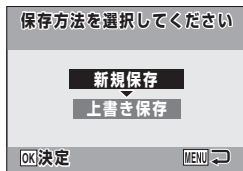
3 [はい]を選び、[OK]ボタンを押す

- 補正を実行します。
- 補正処理中は、「処理中」表示が出ます。
- 補正処理が終わると、処理後の画像が出ます。補正の状態を確認してください。

4 補正の状態を確認し、良ければ[OK]ボタンを押す

- 補正後の画像の保存方法を選ぶ画面が出ます。

- 補正しない場合は、[MENU]ボタンを押してください。補正を取り消して、手ぶれ補正画面に戻ります。

[新規保存]：補正後の画像を新しい画像として保存します。

[上書き保存]：元の画像を削除して補正後の画像だけを保存します。

5 保存方法を選び、[OK]ボタンを押す

- 補正をした画像を保存し、手ぶれ補正画面に戻ります。

手ぶれアイコンについて

- 手ぶれの補正画面では、手ぶれの大きさを示すアイコンが出ます。
  - ：補正不要または補正済み
  - ：補正可能
  - ：補正不能

「手ぶれ補正できません」表示が出る？

- 画像を補正することができませんでした。
- このカメラの補正機能は、カメラが補正すべき現象と認識した部分を自動補正します。このため、補正できない場合があります。
- 1/8秒より遅いシャッタースピードで撮影した画像やリサイズした画像、本機以外のデジタルカメラで撮影した画像は補正できません。また、手ぶれが大きい場合は補正できないことがあります。

保存した画像の撮影年月日について

- 再生時に表示する補正後の画像の日付表示は、補正して保存した日付になります。

コントラストを補正する

画像に明暗(コントラスト)を付けて、はっきりした画像にします。

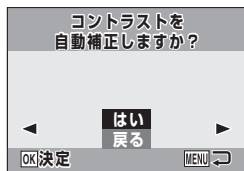
1 コントラストを補正する画像を表示し、再生設定メニューを出す[P80]

2 [コントラスト補正]を選び、[OK]ボタンを押す

- コントラスト補正画面が出ます。

[はい]：コントラストを補正します。

[戻る]：再生設定メニューに戻ります。

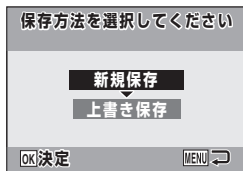
コントラストを
自動補正しますか？
◄ はい ►
戻る
OK決定　MENU

3 [はい]を選び、[OK]ボタンを押す

- 補正を実行します。
- 補正処理中は、「処理中」表示が出ます。
- 画像の状態によっては、処理に数秒間ほどかかる場合があります。
- 補正処理が終わると、処理後の画像が出ます。補正の状態を確認してください。

4 補正の状態を確認し、良ければ[OK]ボタンを押す

- 補正後の画像の保存方法を選ぶ画面が出ます。
- 補正しない場合は、[MENU]ボタンを押してください。補正を取り消して、コントラスト補正画面に戻ります。

[新規保存]：補正後の画像を新しい画像として保存します。

[上書き保存]：元の画像を削除して補正後の画像だけを保存します。

5 保存方法を選び、[OK]ボタンを押す

- 補正をした画像を保存し、コントラスト補正画面に戻ります。

保存した画像の撮影年月日について

- 再生時に表示する補正後の画像の日付表示は、補正して保存した日付になります。

赤目現象を補正する

人物を撮影した際に、目が赤く写ることがあります(赤目現象)。赤く写ってしまった目を自然な状態に近づけることができます(赤目補正)。

1 赤目補正する画像を表示し、再生設定メニューを出す[P80]

2 [赤目補正]を選び、[OK]ボタンを押す

- 赤目補正画面が出ます。

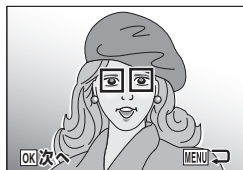
[はい]：赤目現象を補正します。

[戻る]：再生設定メニューに戻ります。

3 [はい] を選び、[OK]ボタンを押す

- 赤目補正を実行します。
- 赤目補正処理中は、「処理中」表示が出ます。
- 赤目補正の処理が終わると、補正する位置を示す画像が出ます。

4 補正する位置を確認し、良ければ[OK]ボタンを押す

- 補正後の画像の保存方法を選ぶ画面が出ます。
- 補正しない場合は、[MENU]ボタンを押してください。補正を取り消して、赤目補正画面に戻ります。

[新規保存]：補正後の画像を新しい画像として保存します。

[上書き保存]：元の画像を削除して補正後の画像だけを保存します。

5 保存方法を選び、[OK]ボタンを押す

- 補正をした画像を保存し、赤目補正画面に戻ります。

「赤目補正できません」表示が出る？

- 赤目現象を補正することができませんでした。
- このカメラの赤目補正機能は、カメラが赤目現象と認識した部分を自動補正します。このため、目が赤く写っていても補正できなかったり、赤く写った目以外の部分を赤目現象と認識し補正する場合があります。

保存した画像の撮影年月日について

- 再生時に表示する補正後の画像の日付表示は、補正して保存した日付になります。

ファイルをコピーする

撮影した画像をカメラの内蔵メモリーからカードへ、カードから内蔵メモリーへとコピーすることができます。

1 カメラにカードをセットする[P23]

2 再生設定メニューを出す[P80]

3 [ファイルコピー]を選び、[OK]ボタンを押す

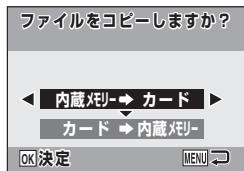
- ファイルをコピーする画面が出ます。

ファイルをコピーしますか？
◀ 内蔵ﾒﾓﾘｰ➡ カード ▶
カード ➡ 内蔵ﾒﾓﾘｰ
OK 決定　MENU

4 コピー方向を選ぶ

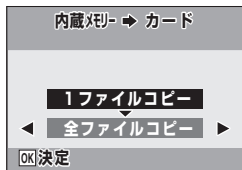
[内蔵メモリー➡カード]：
内蔵メモリーの画像データをカードへコピーします。

[カード➡内蔵メモリー]：
カードの画像データを内蔵メモリーへコピーします。

※カードを装着していないと、コピーすることができません。

5 [OK]ボタンを押す

- コピーのしかたを選ぶ画面が出ます。
- 画面の背景には、コピー元の画像が出ます。

[1ファイルコピー]：データを1つずつコピーします。

[全ファイルコピー]：コピー元のデータをすべてコピー先へコピーします。

6 コピーのしかたを選ぶ

<[1ファイルコピー]を選ぶ場合>

①方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、コピーするデータを表示する
②方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[1ファイルコピー]を選ぶ

<[全ファイルコピー]を選ぶ場合>

①方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、[全ファイルコピー]を選ぶ

7 [OK]ボタンを押す

- コピーを実行します。

プリントを設定する

静止画は、プリンタで印刷することはもちろん、従来の写真のようにデジタルプリント取扱店でプリントができます。またこのカメラは DPOF 規格を採用しており、プリントする枚数の指定や日付けプリントの有無を指定することもできます。

プリントを設定する画面を出す

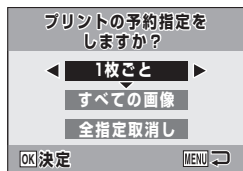
1 再生設定メニューを出す [P80]

2 [プリント予約]を選び、[OK]ボタンを押す

- プリントを設定する画面が出ます。

[1枚ごと]：
画像1枚ごとにプリントの設定を行います。

[すべての画像]：
すべての画像にプリントの設定を行います。

[全指定取消し]：
プリント指定の内容をすべて取り消します。

DPOF規格について

- DPOFは、プリントオーダー規格の1つです。カメラでプリント内容を設定することで、効率よくプリントができます。DPOF規格に対応したプリンタにカメラを直接つないで印刷することもできます。またプリント設定をすると、予約画像印刷[P133]で一度に印刷することもできます。

プリントの仕上がりについて

- 画像回転した画像は、元の画像の状態でプリントします。
- プリントの仕上がりは、プリントサービスやプリンタの仕様によって異なります。

注意!

- カードに約1万個以上のファイルが存在する場合、プリントを設定することができません。

プリントを設定する(つづき)

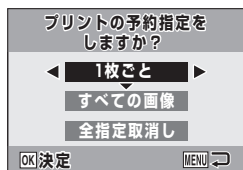
日付・プリント枚数を設定する

1 画像ごとに個別に設定する方法(1 枚ごと)と、カード内の画像すべてに同じ設定をする方法(すべての画像)があります。

1 プリントを設定する画面を出す[P93]

2 [1枚ごと]または[すべての画像]を選ぶ

[1枚ごと]:
表示している画像にプリント設定をします。

[すべての画像]:
カード内のすべての静止画に、同じプリント設定をします。

3 [OK]ボタンを押す

- 日付・プリント枚数設定画面が出ます。
- [1 枚ごと]を選んだ場合は方向ボタンの[◀]/[▶]を押して、プリント設定をする画像を表示してください。
- モニターの左上には、表示中の画像のプリント設定が出ます。
  方向ボタンの[◀]/[▶]を押すと、各画像のプリント設定が確認できます。

4 プリント枚数または日付プリントを設定する

- プリント枚数を設定してから日付プリントを設定してください。プリント枚数を設定していないと、日付プリントは設定できません。

<プリント枚数を設定する>

- 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、プリント枚数を設定する。
  - ・目的の枚数が出るまで方向ボタンの[▲]/[▼]を押してください。

<日付プリントを設定する>

- ズームスイッチの[W]を押して、◷: の横にチェックマーク(✓)を付ける

5 [OK]ボタンを押す

- プリント枚数と日付プリントを設定しました。
- [MENU]ボタンを押すと、プリントを設定する画面(操作 1)に戻ります。

注意!

- 日付写し込み[P79]を[ON]に設定して撮影した画像には日付プリントを設定しないでください。日付が二重に印刷されます。

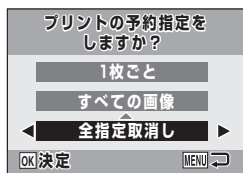
プリントを設定する(つづき)

すべての画像のプリント設定を取り消す

画像のプリント設定をすべて取り消します。

1 プリントを設定する画面を出す[P93]

[P93]

2 [全指定取消し]を選ぶ

3 [OK]ボタンを押す

- 全指定取消し確認画面が出ます。

[はい]：すべての画像のプリント設定を取り消します。

[戻る]：プリント設定の取り消しを中止して、プリントを設定する画面に戻ります。

4 [はい]を選び、[OK]ボタンを押す

- すべての画像のプリント設定を取り消して、再生設定メニューに戻ります。

スライドショー再生をする

1 再生設定メニューを出す[P80]

2 [スライドショー]を選び、[OK]ボタンを押す

- スライドショーを設定する画面が出ます。

[切替時間]：静止画再生時、次の画像を再生するまでの時間を設定します。

[切替効果]：静止画再生時、画面が切り替わる時の画面効果を設定します。

[スタート]：スライドショー再生を開始します。

<設定を変更する場合>

❶設定を変更する項目を選び、[OK]ボタンを押す
❷方向ボタンの[▲]/[▼]を押し、設定を選ぶ
❸[OK]ボタンを押す

3 [スタート]を選び、[OK]ボタンを押す

- スライドショー再生を開始します。
- 再生中に[OK]ボタンまたは[MENU]ボタンを押すと、スライドショー再生を中止します。

- 音声データはスライドショーで再生しません。

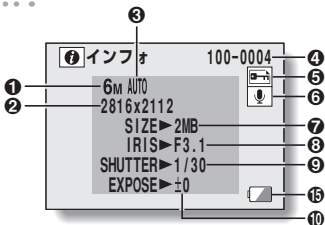
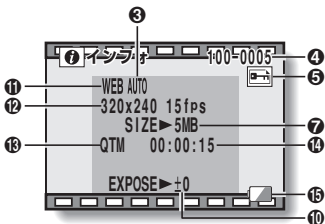
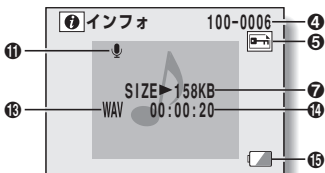
画像情報を表示する（インフォ画面）

撮影画像の情報を表示（インフォ画面）することができます。

1 情報を表示したい画像を出す

2 [MENU]ボタンを約1秒以上押す

- インフォ画面が出ます。
- インフォ画面は、[MENU]ボタンを押すと消えます。

❶解像度の設定
❷解像度
❸シーン機能の設定
❹画像番号
❺プロテクトの設定
❻音声メモの有無
❼ファイルサイズ
❽絞り値
❾シャッタースピード
❿露出補正の設定
⓫動画サイズの設定
⓬解像度とフレームレート
⓭ファイル形式
⓮再生時間
⓯電池残量表示

<静止画像の場合>

<動画クリップの場合>

<音声ファイルの場合>

セットアップメニューを出す

カメラの設定は、セットアップメニューで行います。

1 撮影または再生設定メニューを出す

- 撮影設定メニュー→[P66]
- 再生設定メニュー→[P80]

2 方向ボタンの[▲]/[▼]を押してオプションタグ[🔧]を選ぶ

- セットアップメニューが出ます。

セットアップメニューを消すには

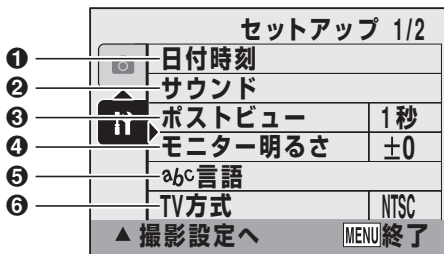
撮影画面または再生画面に戻る→[MENU]ボタンを押す
撮影設定メニューまたは再生設定メニューに戻る→オプションタグ[🔧]を選んだ状態で、方向ボタンの[▲]/[▼]を押す

セットアップメニューを出す(つづき)

セットアップメニューの紹介

セットアップ 1/2

❶ 日付時刻
❷ サウンド
❸ ポストビュー　1秒
❹ モニター明るさ　±0
❺ abc言語
❻ TV方式　NTSC

▲ 撮影設定へ　MENU 終了

❼ オートパワーオフ
❽ ファイルNo. メモリ
❾ フォーマット
❿ 設定リセット

❶ [日付時刻] [P27]
- カメラの内蔵時計を設定します。

❷ [サウンド] [P103]
- カメラから出る音を設定します。

❸ [ポストビュー] [P105]
- 静止画を撮影した後、撮影した画像がモニターに出ている時間を設定します。

❹ [モニター明るさ] [P36]
- モニターの明るさを設定します。

❺ [abc 言語] [P106]
- モニターに表示する言語を設定します。

❻ [TV方式] [P107]
- カメラの[USB AV-OUT]端子から出るテレビ信号の方式を設定します。

❼ [オートパワーオフ] [P108]
- オートパワーオフ機能が働いて、電源が切れるまでの時間を設定します。

❽ [ファイルNo.メモリ] [P109]
- ファイルNo.メモリ機能のON/OFFを設定します。

❾ [フォーマット] [P112]
- カメラの内蔵メモリーまたはカメラに装着したカードをフォーマットします。

❿ [設定リセット] [P115]
- カメラの設定を工場出荷時の状態にします。

※❼～❿は、方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、画面をスクロールすると出ます

サウンドを設定する

カメラから出る音(サウンド)を設定します。

1 セットアップメニューを出す[P100]

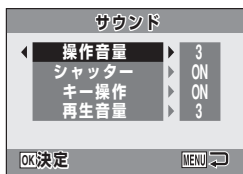
2 [サウンド]を選び、[OK]ボタンを押す

- サウンドを設定する画面が出ます。

[操作音量]：各ボタンを操作した時に鳴る音量を設定します。

[シャッター]：シャッターボタンを押した時に鳴る音を設定します。

[キー操作]：カメラのボタン([OK]ボタン、[MENU]ボタンなど)を押した時に鳴る音を設定します。

[再生音量]：動画クリップや音声データの再生音量を設定します。

3 設定する項目を選び、[OK]ボタンを押す

4 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、設定を選ぶ

<[シャッター][キー操作]を選んだ場合>

- 鳴らすか鳴らさないかを選ぶメニューが出ます。

[ON]：音が鳴ります。

[OFF]：音が鳴りません。

<[操作音量][再生音量]を選んだ場合>

- 音量を選ぶ画面が出ます。
- 音量は、1（最小）から5（最大）までの範囲で選べます。
- [OFF]を選ぶと、音が鳴りません。

5 [OK]ボタンを押す

- サウンドを設定しました。
- [MENU]ボタンを押すと、セットアップメニューに戻ります。

ポストビューを設定する

シャッターボタンを押した後、撮影した画像がモニターに出る(ポストビュー)時間を設定します。

1 セットアップメニューを出す[P100]

2 [ポストビュー]を選び、[OK]ボタンを押す

- ポストビューメニューが出ます。

[1秒]：ポストビューを1秒間出します。

[2秒]：ポストビューを2秒間出します。

[OFF]：ポストビューを出しません。

3 目的の設定を選び、[OK]ボタンを押す

- ポストビューを設定しました。

言語を設定する

モニターの表示は、さまざまな言語に設定できます。

1 セットアップメニューを出す[P100]

2 [言語]を選び、[OK]ボタンを押す

3 言語を選び、[OK]ボタンを押す

- モニターに表示する言語を設定しました。

TV方式を設定する

カメラの[USB AV-OUT] 端子から出力する映像信号の方式を設定します。

1 セットアップメニューを出す[P100]

2 [TV方式]を選び、[OK]ボタンを押す

- TV方式メニューが出ます。

[NTSC]：NTSC方式の映像信号を出力します(日本・北米など）。

[PAL]：PAL方式の映像信号を出力します(ヨーロッパなど)。

3 目的の設定を選び、[OK]ボタンを押す

- TV方式を設定しました。

画像がテレビに映らない？

- TV方式の設定が、接続する機器の信号方式に合っていないと、テレビで画像を見ることができません。

オートパワーオフ機能を設定する

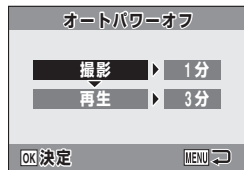
このカメラには、カメラを使用しない時に電池の消耗をおさえたり電源の切り忘れを防ぐため、操作しない状態が続くと自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能があります。
電源が切れるまでの時間(待機時間)を設定することができます。

1 セットアップメニューを出す[P100]

2 [オートパワーオフ]を選び、[OK]ボタンを押す

- 待機時間を設定する画面が出ます。

[撮影]：撮影モードでの待機時間を設定します。

[再生]：再生モードでの待機時間を設定します。

3 設定する項目を選び、[OK]ボタンを押す

- 待機時間のメニューが出ます。

4 方向ボタンの[▲]/[▼]を押し、待機時間を選ぶ

5 [OK]ボタンを押す

- オートパワーオフ機能を設定しました。
- [MENU]ボタンを押すと、セットアップメニューに戻ります。

ファイルNo.メモリーを設定する

初期化したカードを使うと、撮影した画像のファイル名(画像番号)は自動的に 0001 から始まります。再度初期化したり、別の初期化したカードを使うと、ファイル名は再び 0001 から始まります。これはファイル No. メモリ機能が切 [OFF] になっているためですが、この場合複数のカードに同じファイル名が存在することになり、パソコンに保存する時など、誤って上書きしてしまう可能性があります。ファイル No. メモリ機能を入 [ON] にすると、カードを初期化したり交換しても、ファイル名の番号を継続して付けることができます。

〈ファイルNo.メモリ機能　切[OFF]〉

	ファイル名(画像番号)
カードA	0001、0002……0012、0013

カードB	0001、0002……0012、0013

〈ファイルNo.メモリ機能　入[ON]〉

	ファイル名(画像番号)
カードA	0001、0002……0012、0013

カードB	0014、0015……0025、0026

● 交換したカードに画像が残っていた場合、撮影した画像のファイル名は次のようになります。

交換前に撮影した画像番号より小さいファイル名の画像が残っていた：撮影中のファイル名を継続した番号になります。

交換前に撮影した画像番号より大きいファイル名の画像が残っていた：最後のファイル名からの連番になります。

内蔵メモリーの場合は？

● ファイルNo.リセット機能は、内蔵メモリーに対しても同様に働きます。

ファイルNo.メモリーを設定する(つづき)

1 セットアップメニューを出す[P100]

2 [ファイルNo.メモリ]を選び、[OK]ボタンを押す

[ON]：
ファイルNo.メモリ機能をONにします。

[OFF]：
ファイルNo.メモリ機能をOFFにします。

3 目的の設定を選び、[OK]ボタンを押す

● ファイルNo.メモリ機能を設定しました。

● ファイルNo.メモリ機能は、切[OFF]にするまでファイル名が連番となります。撮影の区切りがついたら、切[OFF]に戻すことをおすすめします。

カード・内蔵メモリーを初期化する

・購入後、初めて使うカード
・パソコンや他のカメラで初期化したカード
は、必ずこのカメラで初期化(フォーマット)してからご使用ください。
カードのロックスイッチを「LOCK」の位置にしている場合は、初期化できません。ロックスイッチをロック解除の位置にしてから、初期化をしてください。

1 カードを初期化する場合はカードを装着し、内蔵メモリーを初期化する場合はカードを取りはずす

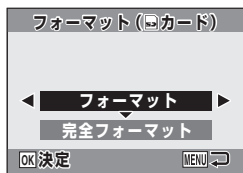
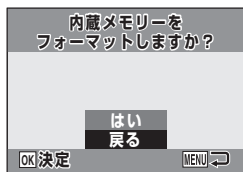
2 セットアップメニューを出す[P100]

3 [フォーマット]を選び、[OK]ボタンを押す

<カードの場合>
- 初期化の方法を選ぶ画面が出ます。
- 操作4～6を行ってください。

[フォーマット]：
通常の初期化を行います。

[完全フォーマット]：
物理フォーマットを行います（カードを装着していなかったり電池残量が少ない場合、マルチメディアカードを装着している場合は、選択できません）。

<内蔵メモリーの場合>
- フォーマットの確認画面が出ます。
- 操作5・6を行ってください。

<カード装着時>

<カード未装着時>

カード・内蔵メモリーを初期化する（つづき）

4 フォーマットの方法を選び、[OK]ボタンを押す

- フォーマットの確認画面が出ます。

5 [はい]を選ぶ

6 [OK]ボタンを押す

- 初期化が始まります。
- 初期化中は、[フォーマット中 電源を切らないでください]表示が出ます。

注意!

初期化中のご注意

- 初期化中は、カメラの電源を切ったり、カードを入れたり取り出したりしないでください。

初期化をすると、データが消えます

- 初期化すると、記録したデータは、すべて消えます。プロテクトしたデータも消えますので、初期化をする前に大切なデータはパソコンのハードディスクなどに保存してください。

カードを廃棄/譲渡するときのご注意(初期化をしてもデータが復元できる?)

- カメラやパソコンの機能によるデータの削除やフォーマットをしても、カードの管理情報を変更するだけで、データはカードに残ったままで、完全には消去できません。
- フォーマットを行っても、データを復元するソフトを使うと、カード内のデータを復元できる場合があります。一方、本機で完全フォーマットを行うと、復元ソフトを使ってもデータの復元ができなくなります。
- カードを廃棄または他人に譲渡する場合は、カード本体を物理的に破壊するか、本機で完全フォーマットを実行するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。カード内のデータは、お客さまの責任において管理してください。

初期化を中止するには

- 操作**5**で[戻る]を選び、[OK]ボタンを押してください。

カメラの設定をリセットする

各設定画面で変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

1 セットアップメニューを出す[P100]

2 [設定リセット]を選び、[OK]ボタンを押す

- 設定リセットメニューが出ます。

[はい]：カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。

[いいえ]：カメラの設定を変えず、セットアップメニューに戻ります。

3 [はい]を選び、[OK]ボタンを押す

- カメラの設定を工場出荷時の設定にしました。

- 設定をリセットしても、以下の設定は保持します。
日付時刻の設定、言語、TV方式、ファイルNo.メモリ

内蔵メモリーやカードの空き容量をチェックする

カードの空き容量は、撮影可能枚数や撮影または録音可能時間の表示で確認することができます。内蔵メモリーや 1 枚のカードに記録できる枚数や時間は、「撮影可能枚数 / 撮影可能時間 / 録音可能時間 [P154]」を参照してください。

1 [ON/OFF] ボタンを押して電源を入れる

<静止画の撮影可能枚数をチェックする場合>
撮影モードを1枚または連写撮影モードにする[P34]

<動画クリップの撮影可能時間をチェックする場合>
撮影モードを動画クリップ撮影モードにする[P34]

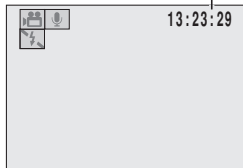
- モニターに撮影可能時間が出ます。
- 撮影可能枚数や時間表示は、解像度や動画サイズの設定に応じて変わります。

<静止画撮影画面>

<動画クリップ撮影画面>

録音可能時間のチェック

1 録音可能状態にする [P70]

- 録音可能時間が出ます。

ヒント

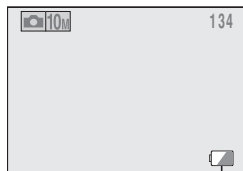
- 撮影可能枚数または、撮影可能時間表示が[0]になると、撮影ができなくなります。新たに撮影する場合は、別のカードに取り替えるか、パソコンに画像を保存した後、画像を消去[P45]してください。
- 撮影可能枚数または撮影可能時間表示が[0]になっても、解像度または動画モードの設定を変えると[P69]撮影が可能になる場合があります。
- 撮影可能枚数の最大値は「9999」、撮影可能時間/録音可能時間の最大値は「99：59：59」です。大容量カードをお使いの場合、正しい数値が表示されないことがありますので、ご注意ください。

電池残量をチェックする

電池を使用している場合は、モニターで電池残量が確認できます。撮影の前には必ずチェックしてください。電池の使用可能時間は 153 ページを参照してください。

1 [ON/OFF]ボタンを押して、電源を入れる

電池残量表示

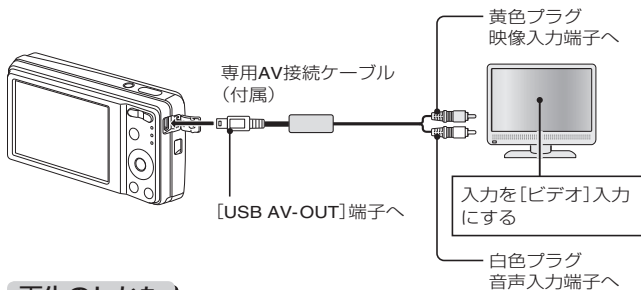
- モニターの右下に、電池残量を示すアイコンが出ます。
- 電池の特性により、低温時には ◢ 表示が早い時点で点灯するなど、電池残量を正しく表示することができません。また、周囲の温度や使用状態などにより表示状態が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。

電池残量表示	電池の残量
表示なしまたは ■	ほぼいっぱいの容量があります。（■ は一部の動作モードでのみ出ます）
◢	容量が少なくなりました。
◢	もうすぐ撮影や再生ができなくなります。
□（点滅）	撮影時、シャッターボタンを押している間点滅すると、撮影はできません。電池を充電してください。

電池残量をチェックする(つづき)

ヒント

- 撮影画像がある場合は、インフォ画面[P99]でも電池残量が確認できます。
- 同じ種類の電池でも、電池の使用可能時間が異なることがあります。
- 電池の消耗は、撮影条件(フラッシュの発光回数、モニターの入/切)や周囲の温度(10℃以下の低温)によっても変わるため、撮影できる枚数は大きく異なります。
- 旅行や結婚式などの大切な撮影や、寒冷地など電池の消耗が速くなる環境で撮影する場合は、予備の電池を用意されることをおすすめします(スキー場など寒い屋外で使用する場合は、電池をポケットに入れるなどして保温したものをご使用ください)。

テレビに接続する

カメラの [USB AV-OUT] 端子と、テレビの音声・映像入力端子を付属の専用 AV 接続ケーブルで接続します。

再生のしかた

- 接続後、テレビの入力切り替えを[ビデオ]入力にしてください。
- AV接続ケーブルをつないだ時は、カメラのモニターの表示が消えます。
- カメラのモニターでの再生と同じ手順で再生できます。
- 音声メモや音声を再生する時も、カメラで再生する時と同じ操作で再生できます。

音声メモの再生：[P40]　　音声の再生：[P71]

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

パソコンに接続する

パソコンに接続すると、カメラをカードリーダーとして使うことができます。

リムーバブルディスクとしての使用上の注意

- カメラ内のデータおよびフォルダに変更を加える操作は、行わないでください。カメラがデータを認識できなくなる場合があります。
  変更を加える場合は、パソコンのハードディスクにコピーしたものを使用してください。
- パソコン上でフォーマットしたカードは、カメラでは使用できません。カメラで使用するカードは、カメラ本体でフォーマットを行ってください。

動作環境

Windows

USB ポートを標準搭載し、Windows 2000 以降をプリインストールしたモデルに対応しています。Windows をアップグレードした環境での動作は、保証しません。

Mac OS

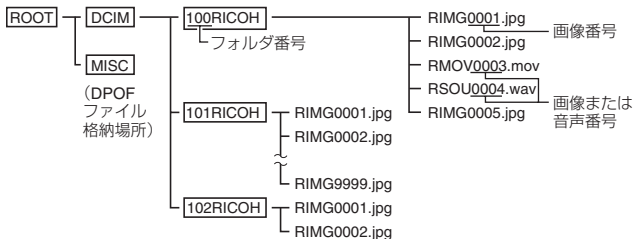
USB ポートを標準搭載し、Mac OS 9.0、9.1、9.2、Mac OS X10.1 以降をプリインストールしたモデルに対応しています。

記録データの形式

カードに記録するデータの形式および、ファイル名を付ける規則は以下のようになります。

データの種類	データ形式	ファイル名命名規則
静止画データ	JPEG	RIMGで始まる。拡張子は「.jpg」。 RIMG＊＊＊＊.jpg
音声メモ データ	WAVE	対応する静止画データと同じファイル名。 拡張子は「.wav」。 RIMG＊＊＊＊.wav
動画クリップ データ	QuickTime Movie	RMOVで始まる。拡張子は「.mov」。 RMOV＊＊＊＊.mov*
音声記録 データ	WAVE	RSOUで始まる。拡張子は「.wav」。 RSOU＊＊＊＊.wav*

*記録した順に続き番号が入る

カードのディレクトリ構造

※100RICOHフォルダ内には、9999枚までのファイルを保存し、さらに撮影/録音すると、新たに101RICOHフォルダを作り、この中に保存します。
フォルダ番号は順次102RICOH、103RICOH･･･となります。

カメラで撮影した動画クリップデータについて

- Apple社のQuickTime 3以降を使用して、パソコンで再生することができます。
- QuickTimeは、以下のホームページで入手してください。
  http://www.apple.com/jp/quicktime/

カード入れ替え時のファイル名について

- ファイルNo.メモリ機能を[ON]に設定すると、カードを入れ替えてもフォルダ番号とファイル名は、前に装着していたカードの続きを付与します[P109]。

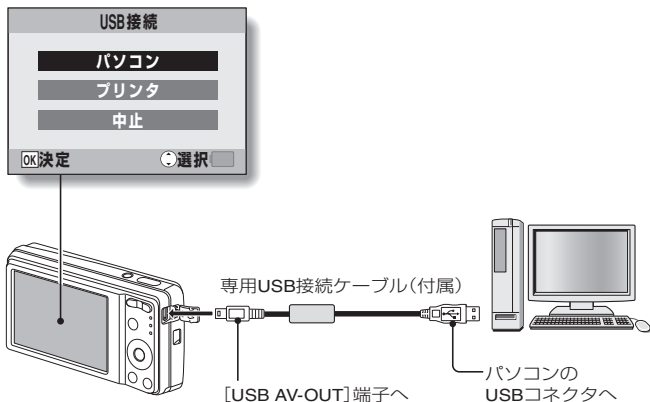
カメラで再生する場合はカードのデータをパソコンで書き換えない

- カメラで撮影した画像データは上記の規則に基づき、ファイル名を付けたり、指定のフォルダに保存をしています。このため、パソコンから直接ファイル名を変更したりすると、画像をカメラで再生できなくなったり、カメラが正常に動作しなくなります。

パソコンモードにする

1 パソコンを起動し、付属の専用USB接続ケーブルでカメラをパソコンに接続する

- カメラの[USB AV-OUT]端子とパソコンのUSBコネクタを接続します。
- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

2 [パソコン]を選び、[OK]ボタンを押す

注意!

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。
- 専用USB接続ケーブルは、パソコンのUSBコネクタに接続してください。モニターやキーボードのUSBコネクタ、USBハブには接続しないでください。ドライバソフトウェアをインストールする時は、特にご注意ください。ドライバソフトウェアが正常にインストールできない場合があります。

内蔵メモリーのデータにアクセスする場合は？

- カメラのカードを取りはずしてください。

Windows Vista/XP

カメラの接続

1 パソコンモードにする[P123]

- タスクトレイに[新しいハードウェアが見つかりました]というメッセージが出て、カメラをドライブとして認識します。
- カードをディスクとして認識(マウント)し、[リムーバブルディスク(E:)]ウィンドウが開きます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

2 Windowsが実行する動作を選ぶ

- 目的の操作を選んでください。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 [ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

<Windows Vistaの場合>

- ウィンドウを閉じてください。

2 カメラのドライブ(E:)を左クリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

Windows 2000

カメラの接続

1 パソコンモードにする[P123]

- パソコンのモニターに新しいハードウェアを検出するメッセージが出た場合は、メッセージに従ってドライバをインストールしてください。
- カメラをドライブとして認識し、[マイコンピュータ]に[リムーバブルディスク(E:)]アイコンが出ます。
  ※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。
- カメラに装着したカードをドライブとして認識(マウント)します。
- [マイコンピュータ]の[リムーバブルディスク(E:)]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 タスクトレイの[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンを左クリックする

- パソコンのUSBコネクタに接続している機器の一覧が出ます。

2 カメラのドライブ(E:)を左クリックする

※ドライブ名(E:)は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

- [ハードウェアの取り外し]ダイアログボックスが出ます。

3 [OK]ボタンをクリックする

- カメラを取りはずすことができる状態になります。

パソコンに接続する(つづき)

Mac OS 9.XX

カメラの接続

1 パソコンモードにする[P123]

- カメラをドライブとして認識し、デスクトップに[名称未設定]アイコンが出ます。
- [名称未設定]アイコンをダブルクリックすると、他のドライブのメディアと同様、カメラに装着したカード内のファイルを操作することができます。

カメラの取りはずし

注意!

- カメラの取りはずしは、必ず以下の操作で行ってください。この操作を行わずに取りはずすと、パソコンが誤動作したり、カードのデータが破損する場合があります。

1 デスクトップのカメラを示す[名称未設定]アイコンを[ごみ箱]にドラッグアンドドロップする

- デスクトップから[名称未設定]アイコンが消えます。
- カメラを取りはずすことができる状態になります。

Mac OS X

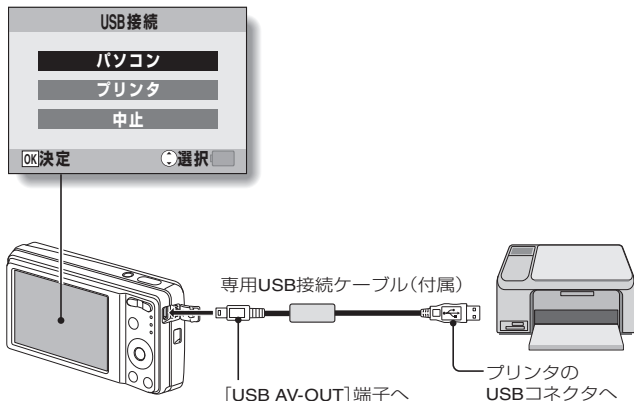
マウント/アンマウントは、Mac OS9.xxの場合と同じ操作で行えます。ただし、カメラの画像を自動認識するようにアプリケーションを設定している場合は、自動認識したアプリケーションが起動します。

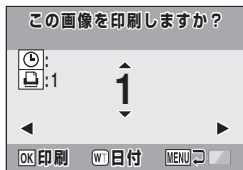
ダイレクト印刷をする

このカメラはPictBridgeに対応しており、PictBridge対応プリンタに直接接続し、カメラのモニターで写真選択や印刷開始を指定することができます(PictBridge印刷)。

印刷の準備

1 プリンタの電源を入れ、付属の専用USB接続ケーブルでカメラをプリンタに接続する

- カメラの[USB AV-OUT]端子とプリンタのUSBコネクタを接続します。
- カメラのモニターにUSB接続画面が出ます。

2 [プリンタ]を選んで、[OK]ボタンを押す

- 印刷画像の選択画面が出ます。

注意！

プリンタ接続時の注意

- 接続している状態でプリンタの電源を切ると、カメラが正常に動作しなくなる場合があります。カメラが正常に動作しなくなった場合は専用USB接続ケーブルを抜き、カメラの電源を切って、再度接続を行ってください。
- PictBridge印刷中は、ボタン操作に対する反応が遅くなります。
- 電池を使って印刷をする場合は、電池残量が十分あることを確認してください。

ケーブルの抜き差しは、ていねいに

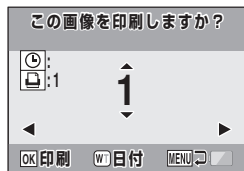
- 接続するときは、プラグの向きとコネクタの形状をよく確認し、まっすぐに接続してください。無理に接続すると、端子を破損するおそれがあります。
- ケーブルを強く引っ張ると、ケーブルやコネクタ部を破損するおそれがあります。

1枚の画像を選んで印刷する（選択画像印刷）

静止画を選んで印刷します。

1 印刷の準備をする[P128]

2 方向ボタンの[◀]/[▶]を押す

● 印刷する画像を表示してください。

他の機器との接続

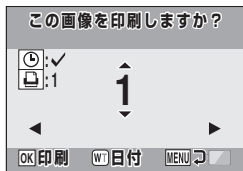
ダイレクト印刷をする

3 印刷枚数または日付プリントを設定する

<プリント枚数を設定する>

- 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、プリント枚数を設定する。
  - ・目的の枚数が出るまで方向ボタンの[▲]/[▼]を押してください。

<日付プリントを設定する>

- ズームスイッチの[W]を押して、⊕：の横にチェックマーク（✓）を付ける

4 [OK]ボタンを押す

- 印刷を開始します。

ヒント

印刷を中止するには

❶印刷中に方向ボタンの[▼]を押す
・印刷中止の確認画面が出ます。
❷[はい]を選び、[OK]ボタンを押す
・[戻る]を選んで[OK]ボタンを押すと、印刷を続行します。

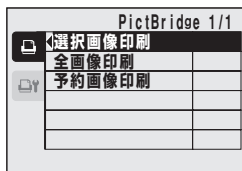
注意！

- 日付写し込み[P79]を[ON]に設定して撮影した画像には日付プリントを設定しないでください。日付が二重に印刷されます。

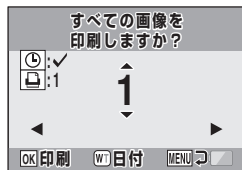
すべての画像を印刷する（全画像印刷）

すべての静止画像を印刷します。

1 印刷の準備をする[P128]

2 [MENU]ボタンを押す
- PictBridgeメニューが出ます。

3 [全画像印刷]を選び、[OK]ボタンを押す
- 全画像印刷画面が出ます。

4 印刷枚数または日付プリントを設定する

<プリント枚数を設定する>
- 方向ボタンの[▲]/[▼]を押して、プリント枚数を設定する。
  - ・目的の枚数が出るまで方向ボタンの[▲]/[▼]を押してください。

<日付プリントを設定する>
- ズームスイッチの[W]を押して、 ⏲: の横にチェックマーク（✓）を付ける

5 [OK]ボタンを押す
- 印刷を開始します。

注意!

静止画像が1000枚以上ある場合は印刷できません
- 不要な画像を消去してから印刷してください。

ダイレクト印刷をする(つづき)

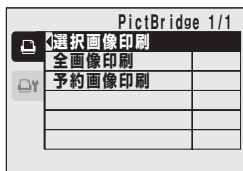
プリント設定をした画像を印刷する(予約画像印刷)

プリントの設定をした静止画像を印刷します。

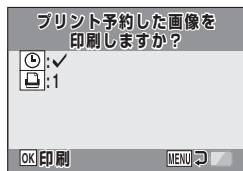
1 プリントの設定[P93]をし、印刷の準備をする[P128]

2 [MENU]ボタンを押す

- PictBridgeメニューが出ます。

PictBridge 1/1
選択画像印刷
全画像印刷
予約画像印刷

3 [予約画像印刷]を選び、[OK]ボタンを押す

- 予約画像印刷画面が出ます。
- プリントを予約した[P93]画像が出ます。

プリント予約した画像を
印刷しますか?
:✓
:1
OK 印刷
MENU

4 [OK]ボタンを押す

- 印刷を開始します。
- [OK]ボタンを押してから印刷を開始するまで、約1分ほどかかります。

- 操作3で、方向ボタンの[◀]/[▶]を押すと、印刷する画像とDPOFの設定を確認することができます。

注意!

- DPOFにプリンタが対応していない場合は、予約画像印刷はできません。
- マルチ印刷はできません。

印刷設定を変えて印刷する(プリンタ設定変更)

用紙の種類やサイズ、レイアウトや印刷品質などをカメラ側で設定して印刷します。

1 印刷の準備をする[P128]

2 [MENU]ボタンを押す

- PictBridgeメニューが出ます。

3 プリンタ設定タグ[プリンタ設定タグアイコン]を選び、[OK]ボタンを押す

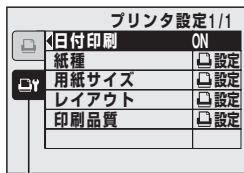
- プリンタ設定メニューが出ます。

[日付印刷]：
撮影年月日を印刷します。

[紙種]：
印刷用紙の紙質を設定します。

[用紙サイズ]：
印刷用紙のサイズを設定します。

[レイアウト]：
印刷用紙への画像の配置を設定します。

[印刷品質]：
印刷画像の美しさを設定します。

プリンタ設定タグ

ダイレクト印刷をする(つづき)

4 プリンタの設定をする

❶方向ボタンを押して設定する項目を選び、[OK]ボタンを押す

・設定を選ぶ画面が出ます。

❷方向ボタンの[▲]/[▼]を押して設定を選び、[OK]ボタンを押す

・選んだ項目を設定し、プリンタ設定メニューに戻ります。
・同じ要領で、必要な項目を設定してください。
・各項目で設定できる内容は、プリンタによって異なります。

<[設定]を選んだ場合>

・プリンタで設定している条件で印刷します。

ヒント

- プリンタ設定メニューの設定項目は、接続するプリンタによって異なります。
- プリンタ設定メニューに出ないプリンタ機能を使う場合は、[設定]に設定してください。
- プリンタにない機能をカメラで設定した場合、カメラの印刷設定は自動的に[設定]になります。

付属のCD-ROMについて

付属の CD-ROM(R50 Software)には、以下のアプリケーションソフトウェアが入っています。
それぞれインストールし、お使いいただくことによって、カメラで記録したデータをより幅広く活用することができます。

●COREL MediaOne

Corel® MediaOne™ Plusは、デジタル カメラで撮った写真やビデオを簡単に楽しく編集できるソフトウェアです。写真を簡単に修整できるだけでなく、ビデオ クリップをダウンロードして表示したり、自分の作品を公開して共有したりできます。プロがデザインしたさまざまなクリエイティブなテンプレートを使用すれば、グリーティング カード、カレンダー、アルバム ページ、コラージュなどの作成も簡単。印刷や電子メール送信、スライド ショーなど、さまざまな方法で写真を共有できるほか、CD や DVD に保存すれば、思い出のバックアップも万全です。Corel MediaOne Plusには、写真やビデオ クリップを最大限活用するために必要なものがすべて揃っています。

*MediaOne スタンダードでは、30日間 Corel MediaOne Plusに含まれるすべての機能が自由にお試し頂けます。30日間の試用期間が終了すると、これらの機能は使用できなくなりますが、その他のスタンダード機能は引き続きお使いいただけます。

動作環境

	CPU	メモリ	OS
COREL MediaOne	2.0 GHz 以上	768MB 以上	Windows XP/ Vista
Adobe Reader	Pentium® Ⅲ 以上	128MB 以上	Windows 2000/ XP

アプリケーションソフトウェアのインストール

1 CD-ROM(R50 Software)をCD-ROMドライブにセットする

- しばらくすると、インストール画面が出ます。

2 インストールするアプリケーションソフトウェアの名称をクリックする

- インストール画面に出たアプリケーションソフトウェアの名称をクリックすると、インストールを開始します。
- インストールプログラムは、各アプリケーションソフトウェアが正しくインストールできるよう、あらかじめ設定しています。パソコンに慣れていない方は、各ダイアロクボックスの[次へ]ボタンをクリックすることをお勧めします。
- アプリケーションソフトウェアのユーザー登録に関するダイアログボックスが出た場合は、何も入力せずに[次へ]ボタンをクリックしてください。
- パソコンの再起動を促すメッセージが出た場合は、パソコンを再起動してください。
- 各アプリケーションソフトウェアの詳細設定については、アプリケーションソフトウェアベンダーのホームページ、またはインストール後にオンラインヘルプを参照してください。

3 [終了]をクリックする

アプリケーションソフトウェアの使いかたについて

付属のアプリケーションソフトウェアをインストールすると、パソコン画面で使いかたが確認できる「オンラインヘルプ」が同時にインストールされます。
アプリケーションソフトウェアの詳しい機能や使いかたにつきましては、オンラインヘルプを参照くださいますようお願いいたします。

よくある質問

よくあるお問い合わせをまとめました。操作に疑問を感じた時などに、ご覧ください。

	質　問	原　因	このようにしてください
電源	電源が入らない？	寒さで電池の性能が一時的に低下した	電池をポケットなどで温めてから使用してください。
	すぐに電池がなくなる？	周囲の温度が低すぎる	周囲の温度を10℃～40℃に保ってください。
		電池の寿命が尽きた	新しい電池に交換してください。
	表示が出る？	電池残量が少なくなった	充電してください。
撮影	フラッシュが光らない？	被写体が明るくて、カメラがフラッシュ発光の必要がないと判断した	故障ではありません。そのまま撮影してください。
	設定した内容は、電源を切っても記憶している？	―	セルフタイマーと露出補正の設定以外は、電源を切っても記憶しています。

	質　問	原　因	このようにしてください
撮影	画像の使用目的に合った画質とは?	—	10M 6M 4M 7.5M:サイズがA4以上の印刷やトリミング(部分拡大)して印刷する場合に適しています。 2M:通常の写真(サービス版)サイズで印刷する場合に適しています。 0.3M:ホームページに掲載したり、メールに添付して送信する場合に適しています。
	デジタルズームと光学ズームの使い分けは?	—	光学ズームはレンズの光学特性を利用するため、精細感を損なわずに撮影することができます。一方デジタルズームはCCDに写った画像の一部を拡大するため、撮影画像が粗くなる場合があります。
	遠景撮影時のピント外れをなくすには?	—	シーン機能を風景モード に設定して撮影してください。 または、フォーカスレンジをマニュアルフォーカスMFにして、焦点距離を∞に設定してください。

	質　問	原　因	このようにしてください
モニター	寒い所で使用すると、画像が尾を引いて見えることがある？	液晶の性質による現象	故障ではありません。 輝点などはモニターにのみ現れるもので、記録することはありません。
	赤、青、緑などの輝点が点灯したままになることや、小さな黒点が見えることがある？		
再生画像	画像が明るすぎる？	被写体が明るすぎた	撮影時に、カメラの向きを変えるなどの工夫をしてください。
	ピントが合っていない？	フォーカスロックができていない	カメラを正しく構え、ピントを固定してから、シャッターボタンを静かに押してください。
	ズームジャンプ再生できない？	ズームジャンプ再生で拡大して保存した画像や動画クリップでズームジャンプ再生ができない	故障ではありません。
	画像が出ない([?]表示が出る)？	このカメラ以外のカメラで撮影したカードを使用すると、誤動作することがある	このカメラで撮影したカードを再生してください。
	縦の縞模様が出る？	明るい被写体を動画クリップ撮影した時は、モニターや撮影画像に縦の縞模様(スミア)が発生することがある	故障ではありません。

よくある質問(つづき)

	質　問	原　因	このようにしてください
再生画像	拡大表示した画像が粗い?	機能上、画像が粗くなる	故障ではありません。
	再生画像が粗い?	デジタルズームを使って撮影した	故障ではありません。 光学ズームの範囲内で撮影してください。
	パソコンで加工した画像をカメラで再生したい?	—	パソコンで加工したデータの再生は保証しかねますので、ご了承ください。
印刷	PictBridge 印刷中にメッセージが出た?	プリンタの異常	プリンタの取扱説明書を参照してください。
その他	[カード残量がありません][内蔵メモリー残量がありません]表示が出る?	カードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	不要なデータを消去するか、空き容量のあるカードを使用してください。
	「カードロックされています」表示が出る?	カードのロックスイッチが「LOCK」(書き込み禁止)の位置になっている	ロックスイッチをロック解除の位置にしてください。
	カメラの操作ができない?	カメラの回路が一時的に異常になった	電池を取りはずしてしばらく放置した後、電池を入れ直してください。

	質　問	原　因	このようにしてください
その他	海外で使用できる？	―	このカメラは日本国内仕様であり、海外ではアフターサービスも受けられません。電源コードについては、最寄のお客様相談センターにご相談ください。
	[システムエラー]表示が出た？	カメラ内部やカードなどに異常が発生した	下記の項目をそれぞれ確認してください ①カードをカメラから取り出し、再度カードを入れる ②電池を取り出し、再度電池を入れる ③他のカードと交換し、確認する 上記を確認いただいても[システムエラー]表示が出る場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

困った状態になった時

故障かな？と思った時は、以下の項目をご確認ください。

カメラ

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
電源	電源が入らない	電池が消耗している	充電する	19
		電池が正しく入っていない	電池の向きに注意し、正しく入れる	23
		スロットカバーを完全に閉じていない	スロットカバーを完全に閉じる	
	なにもしていないのに電源が切れた	オートパワーオフ機能が働いた	故障ではありません。	26
撮影	シャッターボタンを押しても撮影ができない	電源が入っていない	オートパワーオフ機能が働いている時は電源を入れた後、撮影する 電源が切れている場合は、[ON/OFF] ボタンを押す	26
		撮影可能枚数/時間いっぱいに撮影している	カードを交換する	23
			不要な画像を消去してから撮影する 必要な画像は保存してから消去する	45

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
撮影	方向ボタンや［MENU］ボタンなどの操作が効かない	シャッターボタンに指が触れ、フォーカスロックをした状態になっている	シャッターボタンから指を離して、ボタンを操作する	―
	フラッシュが光らない	フラッシュの設定が発光禁止になっている	強制発光または自動発光の設定にする	59
		電池が消耗している	充電する	19
	「電池残量がありません」メッセージが出る	電池が消耗している	充電する	19
	ズームを操作した時、ズーム動作が一瞬止まることがある	光学ズームが最大倍率になった	故障ではありませんズームスイッチをはなし、再度押す	58
	撮影画像にノイズが出る	ISO感度が高すぎる	ISO感度を低く設定する	76
	蛍光灯照明の下での動画クリップ撮影時、撮影画像に激しいフリッカー(画面のちらつき)が発生する	シャッタースピードが速くなるための現象	ISO 感度の設定を 400 以下にする	76

困った状態になった時(つづき)

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
モニター	再生画像が出ない	再生モードになっていない	再生ボタン[▶]を押す	33
再生画像	画像が暗い	フラッシュを指などで覆っていた	カメラを正しく構え、フラッシュに指などがかからないようにする	30
		被写体が遠くにあった	フラッシュ撮影可能範囲内で撮影する	152
		逆光で撮影した	強制発光モードで撮影する	59
			露出補正をする	78
		光量が不足していた	ISO 感度を設定する	76
	画像が明るすぎる	フラッシュを強制発光に設定していた	強制発光以外のフラッシュモードにする	59
		被写体が明るすぎた	露出補正をする	78
		ISO感度の設定が正しくない	ISO感度の設定を ISO-A にする	76
	ピントが合っていない	被写体との距離が近すぎる	フォーカスを正しく設定する	38・63
		フォーカスの設定が正しくない		
		シャッターボタンを押す時にカメラが動いた	カメラを正しく構え、シャッターボタンを正しく押す	30・38
		フォーカスロックができていない		
		レンズが汚れていた	レンズをきれいにする	—

	困った状態	原　　因	このようにしてください	参照ページ
再生画像	室内で撮影した画像の色がおかしい	照明の影響を受けている	フラッシュを強制発光に設定して撮影する	59
		ホワイトバランスの設定が正しくない	ホワイトバランスの設定を正しくする	77
	画像の一部が欠けている	レンズに指やストラップなどがかかっていた	カメラを正しく構え、レンズに指やストラップなどがかからないようにする	30
	[画像がありません]表示が出る	装着しているカードまたは内蔵メモリーに画像がない	撮影してから再生する	—
画像編集	画像の加工や回転ができない	画像にプロテクトを設定している	プロテクトを解除してください。	82
その他	[プロテクトされています]表示が出て、データを消去できない	消去しようとしているデータにプロテクトを設定している	プロテクトを解除する	82
	「撮影可能枚数/撮影可能時間/録音可能時間[P154]」に記載の記録ができない	記録容量が、カードに表示している数値より少ない	カードの仕様によっては、カードに表示している記録容量を持たない場合があります。詳しくは、カードの説明書をご覧ください。	154

シーン機能の制限事項

[スポーツ]	フォーカスレンジをマクロ [マクロ] には設定できません。
[ポートレート]	フォーカスレンジをパン PF、マクロ [マクロ]、マニュアルフォーカス MF には設定できません。 フォーカス方式を AF シーカー AF には設定できません。 デジタルズームは使えません。
[キャンドル]	解像度を 4M 以上に設定できません。 1 枚撮影時でも、フラッシュは使えません。
[風景]	フォーカスレンジをマクロ [マクロ] には設定できません。
[夜景ポートレート]	フォーカスレンジをマクロ [マクロ] には設定できません。
[高感度]	フォーカスレンジをマクロ [マクロ]、マニュアルフォーカス MF には設定できません。 1 枚撮影時でも、フラッシュは使えません。 フォーカス方式を AF シーカー AF には設定できません。
[セルフ]	フォーカスレンジをパン PF、マクロ [マクロ]、マニュアルフォーカス MF には設定できません。 フォーカス方式を AF シーカー AF には設定できません。 デジタルズームは使えません。

仕　様

カメラの仕様

形式	CCDデジタルカメラ（記録・再生型）
記録画像ファイルフォーマット	**静止画像：**JPEG形式 （DCF、DPOF、Exif Ver2.21準拠） （注）DCFは（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、DSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。 **動画クリップ：**QuickTime Movie（Photo-JPEG） **音声：**WAVE（モノラル）
記録媒体	内蔵メモリー：約52MB 外部メモリー：SDメモリーカード（8GB SDHCメモリーカードに対応）
カメラ部有効画素数	約1,000万画素
撮像素子	1/2.3型CCD、総画素数：約1,034万画素、インターレーススキャン、原色フィルター
記録画素数	**＜静止画撮影＞** 10M：3,648×2,736 ピクセル 7.5M：3,648×2,056 ピクセル 6M：2,816×2,112 ピクセル 4M：2,288×1,712 ピクセル 2M：1,600×1,200 ピクセル 0.3M：640×480 ピクセル **＜動画クリップ撮影＞** TV：640×480ピクセル、30 フレーム / 秒 WEB：320×240ピクセル、15フレーム / 秒
ホワイトバランス	フルオート TTL、マニュアル設定可能

レンズ	光学5.0倍ズームレンズ	f = 6.3mm 〜 31.5mm （35mm フィルムカメラ換算：36mm 〜 180mm） オートフォーカス、6 群 8 枚（非球面 4 面）
絞り	開放 F=3.5（Wide）〜5.6（Tele）	
露出制御方式	プログラムAE 撮影設定メニューによる露出補正機能あり（0±1.8EV　0.3EVステップ）	
測光方式	多分割測光、中央重点、スポット測光	
撮影範囲	通常撮影　：40cm 〜∞（Wide）、90cm 〜∞（Tele） マクロ撮影：10cm 〜 50cm（Wide）、60cm 〜 1m（Tele）	
デジタルズーム	撮影時：1〜4倍 再生時：1〜57.5倍（解像度により異なる）	
シャッタースピード	1枚撮影モード：1〜1/2,000秒 （最長約2秒：シーン機能花火 時など） （フラッシュ発光時：1/30 〜 1/2,000 秒） 連写撮影モード：1/2〜1/2,000秒 動画クリップ撮影モード：1/30〜1/10,000秒	
感度（標準出力感度）	1枚撮影モード、連写撮影モード（標準出力感度）： オート（ISO50〜400）/ISO50、100、200、400、800、1,600、3,200（撮影設定メニューによる切り替え） 動画クリップ撮影モード： オート（ISO450〜3,600）/ISO450、900、1,800、3,600、7,200(撮影設定メニューによる切り替え） *感度はISO（ISO12232：2006）準拠の測定方法による。	

モニター	2.5型TFTカラー液晶 約23万画素 （視野率約 100%） 明るさ調整：5 段階	
フラッシュ撮影範囲	GN=5.5 { 約40cm～2.9m（Wide） 約60cm～1.8m（Tele）	
フラッシュモード	自動発光、強制発光、発光禁止、赤目軽減	
フォーカス	TTL方式AF（9点測距/スポット/AFシーカー）・マニュアルフォーカス（14段階）	
セルフタイマー	作動時間約2秒/10秒	
使用環境	温度	0～40℃（動作時）、－20～60℃（保管時）
	湿度	30～90%（動作時、非結露） 10～90%（保管時、非結露）
電源	リチウムイオン電池（DB-80）×1本	
大きさ（最薄部：グリップおよびレンズ突起を含まず）		97.3（幅）× 56.3（高さ）× 23.4（奥行き）mm
質量		約116g（電池･カード別）

カメラ各端子の仕様

[USB AV-OUT]（通信/音声・映像出力）端子	専用ジャック	
	音声出力	250mVrms（−1.1dBs）·2.2kΩ以下·モノラル
	映像出力	1.0Vp-p・75Ω不平衡・同期負・コンポジットビデオ、日米標準NTSCカラーTV方式/PALカラーTV方式（セットアップメニューによる切り替え）
	USB	USB 2.0 High-Speed

電池寿命

撮影可能枚数	220枚：CIPA規格によります（東芝製 128MB SDメモリーカード使用時）
再生可能時間	250分：液晶モニターを点灯し、連続して再生した場合

- 十分に充電した付属の電池を使い、常温（25℃）で当社測定条件のもと、電池が切れるまでのおおよその値です。
- 電池の状態や測定条件により、使用可能時間が変わります。特に10℃以下の低温状態で使用したときは、電池の特性により使用可能時間が極端に短くなります。

撮影可能枚数/撮影可能時間/録音可能時間

内蔵メモリー、市販品のSDメモリーカード(2GB、8GB)を使用した場合の撮影可能枚数と撮影可能時間は以下のとおりです。

撮影モード設定	解像度設定	圧縮率設定	内蔵メモリー使用時	SDメモリーカードの種類	
				2GB使用時	8GB使用時
1枚撮影モード 連写撮影モード	10M	FINE	15枚	585枚	2,340枚
		NORM	23枚	861枚	3,450枚
	7.5M	FINE	20枚	775枚	3,110枚
		NORM	30枚	1,140枚	4,610枚
	6M	FINE	26枚	984枚	3,950枚
		NORM	38枚	1,440枚	5,790枚
	4M	FINE	39枚	1,470枚	5,920枚
		NORM	58枚	2,130枚	8,580枚
	2M	FINE	79枚	2,950枚	11,800枚
		NORM	114枚	4,130枚	17,100枚
	0.3M	FINE	416枚	18,000枚	71,000枚
		NORM	555枚	25,300枚	102,000枚
動画クリップ撮影モード	TV	ー	50秒	31分10秒	2時間4分
	WEB	ー	2分46秒	1時間43分	6時間50分
音声記録モード	ー	ー	1時間50分	68時間54分	275時間

- 音声の連続記録時間は、最大9時間です。
- 8GBのカードを使用し、動画クリップ撮影をしている場合、記録中のファイルのサイズが約4GBになると、撮影を終了します。
- Sandisk製SDメモリーカードを使用した値です。
- 同じ容量のカードでも、メーカーや種類、撮影条件が違うと撮影枚数など数値が異なることがあります。
- 連続撮影(録音)時間は、カードの種類・容量・性能などによって、異なります。

仕　様（つづき）

付属の充電器の仕様

品番		BJ-8
電源		AC100-240V・50/60Hz、2.6w
定格出力		DC4.2V、330mA
適合電池		付属または別売のリチウムイオン電池（DB-80）
使用環境	温度	0〜40℃（充電時）、−20〜60℃（保管時）
	湿度	20〜80％（非結露）
大きさ		62（幅）×23.8（高さ）×90（奥行き）mm
質量		約63g（電源コードを含まず）

● 付属の充電器を海外でお使いになる場合は、電源コードをご使用になる地域や国にあったものに取り替える必要があります。

付属のリチウムイオン電池の仕様

品番		DB-80
電圧		3.7V
定格出力		680mAh
使用環境	温度	0〜40℃（機器使用時・充電時） −10〜30℃（保管時）
	湿度	10〜90％（非結露）
大きさ		26.9（幅）×7.5（高さ）×38（奥行き）mm
質量		約15g

その他

電波障害自主規制について

- この製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本機の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

ご注意

- この説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは固くお断りします。
- この説明書に掲載している写真やイラストは、説明のため実物と多少異なりますが、ご了承ください。また内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品は日本国外では販売せず、保証書は日本国内でのみ有効です。
- 付属品は、日本仕様です。

大切な撮影をする前には試し撮りをしてください

- 本製品がお客さまにより不適当に使用されたり、この説明書の内容に従わずに取り扱われたり、または当社および当社指定外の第三者により、修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 当社純正品および、当社品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、修理その他の理由により生じたデータの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品で撮影した画像の質は、フィルム式カメラの写真の質とは異なります。

CD-ROM の使用許諾について

・本CD-ROMを無断で複製することはできません。
・本CD-ROMに収納されているソフトウェアのインストールにあたっては、インストール時に表示されるソフトウェアの使用許諾契約内容を確認の上、同意された内容において使用することができます。
・本CD-ROMで紹介する他社製品およびサービス内容につきましては、供給メーカーにお問い合わせください。

Mac OS、QuickTimeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
IntelおよびPentiumは、米国インテル社の登録商標です。
その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本文中では、Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版、 Microsoft® Windows® XP operating system日本語版、Microsoft® Windows® Vista operating system日本語版を単にWindowsと表記しています。

ソフトウェア Red Eye by FotoNation™ 2003-2005 は、FotoNation®社の商標です。

Red Eye software© 2003-2005 FotoNation In Camera Red Eyeは、米国特許(No. 6,407,777)および申請中特許を使用しています。

SDHCは商標です。

その他の社名、および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

索　引（50音順）

名称・用語

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

操作

は行

ま行

ら行

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、保証書に記載された保証期間内で無料修理いたしますので、リコー修理受付センターかお買い上げの販売店にお申し出ください。なお、修理にご持参いただくに際しての諸費用はお客様にご負担願います。
2. つぎの場合は上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。
   ① 取扱説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障。
   ② 取扱説明書に記載されている当社指定の修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障。
   ③ 火災、天災、地変、落雷、異常電圧等による故障。
   ④ 保管上の不備（取扱説明書に記載）、電池等の液漏等、カビ発生、手入れの不備等による故障。
   ⑤ 浸（冠）水、飲物（ジュース、酒類等）かぶり、砂（泥）入り、衝撃、落下、圧力等による自然故障以外の故障。
3. 保証書に記載された保証期間経過後は、本製品に関する修理は有償修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましては、お客様のご負担とさせていただきます。
4. 保証書の添付のない場合や、販売店名、ご購入年月日の記入がない場合ならびに記載事項を訂正された場合には、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。
5. 保証期間内であっても、本製品について各部点検、精密検査等を特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。
6. 保証の対象となる部分は本体のみでケース、ストラップ等の付属品類および本製品に付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象となりません。
7. 無償修理期間中であるか否かにかかわらず、本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および得べかりし利益の損失）等については補償いたしかねます。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   * 以上の保証規定は無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
   * 以上の保証規定は本製品に関する保証書にも同様の趣旨で記載されています。
9. 本製品の補修用性能部品（機能、性能を維持するために不可欠な部品）は、5年を目安に保有しております。
10. 浸（冠）水、砂（泥）入り、強度の衝撃、落下等で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの等は修理できない場合もあります。ご了承ください。

- 修理にお出しになる前に、バッテリーの消耗のチェックと取扱説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいたします。
- 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合もございますので、修理には余裕を持ってお出しください。
- 修理にお出しになる際は、故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
- 修理にお出しになる際は、修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。
- 大事な記録（結婚式や海外旅行等）を撮影されるときには、前もってテスト撮影をしてカメラの調子をご確認くださるとともに、取扱説明書や予備のバッテリーの携帯等をお勧めいたします。
- 修理にお出しになった場合、メモリーカードおよび内蔵メモリー内のデータについては保証できません。

保証規定

1. 本製品が万一故障した場合はご購入日から満 1 年間無料修理いたしますので、お買い上げ店か当社サービス窓口にお申し出ください。なお、お買い上げ店または当社サービス窓口にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。また、お買い上げ店と当社間の運賃諸掛りにつきましては、輸送方法によって一部ご負担いただく場合があります。
2. 次の場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。
   (1) 使用上の誤り（取扱説明書以外の誤操作等）により生じた故障。
   (2) 当社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障。
   (3) 火災、天災、地変、落雷、異常電圧等による故障。
   (4) 浸水、落下、衝撃、泥、砂、圧力等による自然故障以外の故障。
   (5) 保管上の不備（取扱説明書に記載）や手入れの不備等による故障。
   (6) 本保証書の添付のない場合。
   (7) 販売店名、ご購入年月日等の記載がない場合、あるいはこれらを訂正された場合。
3. 保証の対象となる部分は本体のみでストラップ等の付属品類及び本製品に付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象とはなりません。
4. 本製品の故障に起因する付随的損害（記録･再生に要した諸費用及び､記録･再生により得べかりし利益の損失等）については補償しかねます。

ご注意

1. 本保証書は以上の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 当製品の修理に関するお問い合わせは、販売店又は最寄りのサービス窓口までご連絡ください。
3. 本保証書をお受け取りの際は、販売店名及び購入年月日等が記入されているかどうかをご確認ください。もし、記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げ店へお申し出ください。
4. 本保証書は紛失されましても再発行致しませんので大切に保存してください。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only in Japan.)

<アフターサービスについて>

1. 修理完了品には当社サービス窓口より修理伝票が発行されますので、修理品をお受け取りの際ご確認ください。
2. 部品の保有期間等アフターサービスに関する事項については、取扱説明書に詳しく記載されていますのでご覧ください。
3. 保証期間経過後の修理等についてのお問い合わせは、当社サービス窓口をご利用ください。

リコー修理受付センター

万一、本製品がご使用中に故障した場合は、下記のサービスメニューからお客様がご希望のサービス方法をお選びいただき、記載されているリコー修理受付センターまでお申し込みください。

＊ 本製品の保証書に記載された保証期間内は、無料修理となりますが、保証書裏面の保証規定第 2 項の記載に該当する場合は、保証の対象にはなりません。

＊ 各サービスメニューの対象は、製品本体のみとさせていただきます。

＊ 本サービスは、日本国内のみ有効です。

修理についての詳しい内容は、インターネットでもご案内しています。
http://www.ricoh.co.jp/dc/support/repair/

●たくはいサービス●

着払い宅配便にてお送りいただくサービスです。

●ひきとりサービス●

運送業者がお客様のご自宅（事務所）に訪問し、機械を梱包してお預りします。ひきとり料金（2000 円）がかかりますので、予めご了承ください。

時間帯指定サービス

たくはいサービス、ひきとりサービスの各サービスで、修理完成品の配達日の時間帯指定ができます。時間帯は 10：00 ～ 20：00 までの間で、時間帯区切りは 2 時間です。
1)10：00 ～ 12：00　2)12：00 ～ 14：00　3)14：00 ～ 16：00
4)16：00 ～ 18：00　5)18：00 ～ 20：00
＊リコー修理受付センターへご連絡の際、お申し込みください。

●持ち込み修理について●

お買い上げのご販売店、カメラサービスセンター（裏表紙）のいずれかにお持ちいただいた場合も、修理の受付を行います。

お願い

1. 修理に際し、メモリー等記憶装置内のデータの保存については保証いたしかねますのでご了承ください。
2. 修理におだしになる前に、バッテリーのチェックと取扱説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いします。
3. 修理個所によっては規定以上の日数がかかる場合がございますので、修理には余裕を持ってお出しください。
4. 修理ご依頼の際は、故障内容と故障個所をできるだけ詳しくお申し出ください。
5. 「リコー修理受付センター」は上記取扱商品の故障に関する修理方法、修理期間等のお問い合わせに限らせていただきます。

修理以外の製品に関する機能・性能、使用方法のお問合せ、ご相談は巻末に記載のリコーお客様相談センターまでお願い申し上げます。

「環境対応」から「環境保全」、そして「環境経営」へ。

リコーは地球環境に配慮した活動も積極的に推進し、かけがえのない地球の一市民として、環境保全活動も経営の重要課題として積極的に推進しています。
デジタルカメラについても環境負荷削減を目指し、「消費電力削減」、製品に含有される「環境影響化学物質削減」などに取り組んでいます。

困ったときには

本書の「よくある質問 [P140]」「困った状態になった時 [P145]」をご覧ください。
問題が解決しないときには、「リコーお客様相談センター」にご連絡ください。

リコーお客様相談センター

電話 0120-000475 FAX 0120-479417
受付時間：9:00 ～ 18:00（土、日、祝日を除く）
※なお、対応状況の確認と対応品質の向上のため、ご相談内容を録音させていただいております。

インターネットでもサポート情報をご提供しています。
http://www.ricoh.co.jp/dc/support/

デジタルカメラ修理受付

リコー修理受付センター（リコーロジスティクス株式会社）	0120 FreeDial 電話 0120-053956（携帯電話、PHS からの通話はできません）受付時間：9:00 ～ 17:00（土、日、祝日、年末年始等弊社指定休日を除く）宅配便を利用した修理品の受付センターです。
リコー銀座カメラサービスセンター ※持ち込み修理の受付です。	〒104-0061 東京都中央区銀座6-14-7（第3リコービル） 電話 03-3543-4187 受付時間：9:30～17:00（土、日、祝日、年末年始等弊社指定休日を除く）
デジタルカメラサービスセンター（リコーテクノシステムズ株式会社） ※持ち込み修理の受付です。	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜1-2-1（新横浜ファーストビル３階） 電話 045-474-2586 受付時間：9:30～18:00（土、日、祝日、年末年始等弊社指定休日を除く）

修理についての詳しい内容は、インターネットでもご案内しています。
http://www.ricoh.co.jp/dc/support/repair/

株式会社リコー
〒104-8222
東京都中央区銀座8-13-1 リコービル
電話：0120-000475（フリーダイヤル）
2008年3月

Jp JA Printed in China

L749 1971
1AG6P1P3943--
SG2G2/J（0208HS-HS）